



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学「経済學研究」総目次（自第1号 至第200号）
Citation	經濟學研究, 57(1), (1)-(51)
Issue Date	2007-06-07
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/25168
Type	departmental bulletin paper
File Information	ES57(1)Index.pdf



北海道大学「経済学研究」総目次

自 第1号 (1951.12)
至 第57巻1号 (2007.6) 通巻第200号

[第1号] (1951.12)	ホオトレイの国際収支対策論 …酒井一夫 75
スリヒターの景気循環論 ……伊藤俊夫 1	アメリカにおける株式會社(1)
「明治七年府縣物産表」の分析	——概観—— ……鎌田正三 95
……………山口和雄 23	ランカシャー綿業の産業構造 ……琴野孝 119
農業經營方式と地代形態 ……矢島武 59	新中國に於ける金融制度に付いて
信用と貨幣	——その歴史的意義—— ……三木毅 143
——ホオトレイの信用理論について——	スコウヴェルの利子原價論
……………酒井一夫 77	——利子原價論序論—— ……菅原秀人 173
アメリカに於ける石油事業の集中	
……………鎌田正三 107	[第4号] (1953.9)
非線型加速因子と長期的趨勢 ……早川泰正 147	明治十年代の「工場」生産
クライミング・ボーイの廢止	——府県統計書の分析—— ……山口和雄
——19世紀の良心—— ……琴野孝 171	寺島六郎 1
ウイクセルに於ける貨幣數量説の超克	アメリカにおけるトラスト金融
……………三木毅 211	——主としてトラスト・プロモーターについて——
	……………鎌田正三 29
[第2号] (1952.8)	ランカシャー綿業の産業構造(2)
利子率と物價水準	……………琴野孝 61
……………伊藤俊夫 1	スミスにおける地代論と自然價格論
明治十年代の内國貿易(1) ……山口和雄 23	……………石垣博美 91
アメリカにおける鐵工業の集中	英國救貧法に關する一考察
……………鎌田正三 59	——スピーナムランド法の社会政策的意義について——
アグリゲーションと安定條件 ……早川泰正 97	……………三好宏一 117
リカアドオにおける價値論の修正	
……………石垣博美 119	[第5号] (1954.1)
ツガン=バラノフスキー『國民經濟理論より見た資本	經濟學一般理論の純化 ……渡邊侃 1
制秩序の崩壊』について ……佐藤博 141	明治十年代の内國貿易(3・完)
	……………山口和雄 31
[第3号] (1953.3)	徳川農場發達史(1) ……林善茂 73
明治十年代の内國貿易(2) ……山口和雄 1	利潤率にかんするJ. S. ミルの學説をめぐって
所謂「絶對的窮乏化」とその諸指標	……………石垣博美 107
……………新川士郎 39	ツガン=バラノフスキー恐慌論にかんする一考察

……………佐藤博 137
 経済學に於ける數學的方法の意義について
 ……………是永純弘 155

[第6号] (1954.8)

論文

銀行流動性に關する轉嫁性理論
 ……………伊藤俊夫 1
 アメリカにおける株式會社 (2)
 —内部機構— ……………鎌田正三 23
 徳川農場發達史 (2) ……………林善茂 57
 ランカシャー綿業の産業構造 (3)
 ……………琴野孝 105

資料

明治初期農村經濟に關する一考察
 ……………山口和雄 137

[第7号] (1954.12)

論文

ジョージ、ラムジの利子論
 —企業利得者の規定をめぐって—
 ……………石垣博美 1
 「經濟科學」の論理について ……是永純弘 35
 ハイエク景氣理論と生産構造 ……林昭男 55

[第8号] (1955.7)

論文

直接税と間接税の厚生効果 ……前田新太郎 1
 總体消費函數分析の展開
 —主としてトービン・クラインの業績を中心として—
 ……………清水川繁雄 23
 所得分析と價格理論の綜合
 —乗數理論の再構成— ……佐藤和夫 51

資料

明治十年代の商賈について ……山口和雄 89
 アメリカ經濟における國債管理問題
 ……………伊藤俊夫 101

[第9号] (1955.12)

論文

經濟波動論の討議 ……………渡邊侃 1
 ツガン＝バラノフスキーをめぐる崩壞論争の一考察
 ……………佐藤博 19
 ハイエク景氣理論と生産構造 (2)
 ……………林昭男 65
 幌内炭坑の官營とその拂下げ ……水野五郎 85

[第10号] (1956.8)

論文

W. C. ミッチェル (制度学派と循環学説)
 ……………渡邊侃 1
 スミス再生産論における問題點 (1)
 ……………石垣博美 15
 フェリックス・カウフマンの「經濟法則論」とその吟味
 —後期オーストリア学派の方法論的基礎について
 の一考察— ……………是永純弘 33
 リカアドオ効果の吟味 ……………林昭男 65
 A Simple Model of the Business Cycles in the Expansion Phase ……………Kazuo Sato (1)

[第11号] (1957.1)

渡邊侃教授在職30年記念号

論文

北海道開進社顛末 ……………高倉新一郎 1
 米国の都市地理に關する一考察
 —機能分類と中央平原における發展—
 ……………大爺栄一 29
 再生産表式から見た所得分析 ……酒井一夫 61
 國民經濟の軍事化、戦争と独占利潤
 ……………菅原秀人 93
 經濟の循環、成長と農業
 —序説— ……………清水川繁雄 117
 仮説の驗證と「最尤法」の原理について
 —M・G・ケンダールの「最尤法」論—
 ……………是永純弘 149

[第12号] (1957.9)

松岡孝児教授追悼号

遺影・追悼の言葉

論文

景気循環と国際関係

——貨幣的景気論・金為替本位制の著者としての松岡教授にささぐ—— ……桑原 晋 1

統計学 = 社会科学方法論説の擁護

——ドウルジーニン批判の吟味——
……………大橋 隆 憲 25
リカアドオとボウズンキット ……田 中 生 夫 77
計算貨幣について ……酒 井 一 夫 99
坂松岡孝児博士略歴・著書論文目録 ……127

[第13号] (1958.3)

創立十周年記念論文集

論 文

経済成長と財政政策 ……前 田 新太郎 1
経済学認識論序説 ……渡 邊 侃 21
明治十年代の職業別階層別人口構成
……………山 口 和 雄 35
金の価格・価値および物価 ……酒 井 一 夫 55
徳川農場発達史 (3) ……林 善 茂 81
企業会計原則と監査基準 ……菅 原 秀 人 125
資本係数の傾向と生産構造の変化
……………林 昭 男 137
北海道石炭鉱業における独占資本の制覇
……………水 野 五 郎 153
経済学における数学利用の意義について
——西ドイツに於ける最近の論争——
……………是 永 純 弘 171
新中国に於ける私営銀錢業の社会主義改造
……………三 木 毅 195
明治十年代における地所売買と書・質入
……………寺 島 六 郎 213
典型調査の意義について ……佐 藤 博 235
Marginal Price Policy and Distribution of Resources
……………Kiyohiko Yoshitake (1)

[第14号] (1958.12)

論 文

国民所得の推移と景気変動 ……鹿 討 豊 雄 1
加速度原理と景気変動論 ……柴 田 義 人 27
経済成長と財政政策 (補遺) ……前 田 新太郎 49

紹 介

コーブランドのケインズ改革論
……………伊 藤 俊 夫 59

[第15号] (1959.3)

論 文

貨幣数量説の一批判 ……酒 井 一 夫 1
産業資本確立期における北海道石炭鉱業
……………水 野 五 郎 21
マイヤーの集団論 ……高 岡 周 夫 49
戦後の西ドイツにおける人口の国内移動の研究 (1)
……………大 爺 栄 一 75

[第16号] (1959.11)

論 文

『経済学批判綱要』における「生産一般」についての
考察 ……石 垣 博 美 1
計量経済学における統計解析について
——最大尤度法の意義と限界——
……………是 永 純 弘 29
明治初期農村経済の一考察 ……寺 島 六 郎 51
利潤率低落法則の統計的検証
——J. M. Gillman; The Falling Rate of Profit.
1957 を中心にして—— ……佐 藤 博 75

[第17号] (1960.3)

論 文

原始的蓄積論についての一考察
……………石 垣 博 美 1
技術革新と特別償却 ……菅 原 秀 人 27

紹 介

日本における綿と化繊の競合
——ホーンベックの所論について——
……………伊 藤 俊 夫 43
H. ポリンズ「1868年以前のイギリスの鉄道会計」
……………菅 原 秀 人 71

[第18号] (1961.3.6)

論 文

イギリスにおけるメリヤス工業の実態

.....伊藤俊夫 1
 アメリカにおける銀行の集中 …中村通義 37
 Concave Programming の Gradient Method について (1)戸島 熙 (27)
 貿易市場結合度分析の有意性
 ——日本の米国貿易結合度時系列の共分散分析——
所 哲也 (1)

[第19号] (1961.3.20)

論文

戦後の西ドイツにおける人口国内移動の研究 (2)
大 爺 栄 一 1
 アフタリオンの管理貨幣論 ……酒井一夫 37
 産業革命と企業者の機能 ……琴野 孝 53
 企業貯蓄と投資 ……小林好宏 (30)
 最適関税の基礎理論 (その1) …坂下 昇 (10)
 線型計画の財政への適用について
前田 新太郎 (1)

[第11巻 第1号 (通巻第20号)] (1961.11)

論文

産業革命と企業者の機能 (2) ……琴野 孝 1
 ニュー・ディール期における資金集中とその運用形態
森 杲 55
 産業連関表と社会的総資本の流通
山田 喜志夫 (1)

[第11巻 第2号 (通巻第21号)] (1962.3)

論文

商品論の方法
 ——『資本論』体系における端緒の商品の性格について——降旗節雄 1
 利潤率の傾向的低下法則の論証について
 ——R. ロスドルスキー論文を手がかりとして——
片桐誠士 41
 同一労働同一賃金の原則
 ——舟橋尚道氏の賃金理論——
平石 修 (1)

[第12巻 第1号 (通巻第22号)] (1962.6)

論文

無償用役と国民所得長谷部 亮 一 1
 プルードンにおける分業と機械
 ——マルクスのプルードン批判について——
佐藤茂行 31
 A Note on the Existence Theorem of Activity
 EquilibriumRyôsuke Hotaka (15)
 交通量配分の微視的理論
坂下 昇 (1)

[第12巻 第2号 (通巻第23号)] (1963.2)

鹿討豊雄博士退官記念号

近影
 巻頭言伊藤俊夫
 論文
 続「均衡予算の乗数効果」をめぐる論争
前田 新太郎 1
 法華宗農場顛末林 善 茂 11
 経済学史における理論と歴史 ……石垣博美 31
 費用・収益の対応菅原秀人 51
 農家貯蓄函数の吟味

——北海道の場合——長谷部 亮 一 63
 関税を含む国際経済体系における均衡解の存在について
坂下 昇 89
 「流通」と「生産」
 ——『資本論』体系における「貨幣の資本への転化」の論理——降旗節雄 111
 フォーディズムの経済的背景
 ——第一次世界大戦後のアメリカにおける経営労務の性格——中村通義 137
 米国土地問題研究渡邊 侃 167
 鹿討豊雄博士略歴・論文目録

[第12巻 第3号 (通巻第24号)] (1963.5)

論文

景気循環における ceiling の位置
早川泰正 1
 兌換銀行券のいわゆる「転化」問題 (その1)
 ——飯田教授の「二重の本質と二重の運動」に関連して——松井安信 19

流通形態と資本家的生産 ……降旗節雄	49
形成期の労務管理の諸形態	
——第一次世界大戦後のアメリカにおける経営労務の実態—— ……中村通義	89
安定的成長のための金融政策 ……漆崎健治	113
Non-Linear Programming の計算法について ……穂鷹良介	129
西日本工業地帯における立地条件 ……伊藤俊夫	145
経済学研究 第12巻 総目次	

[第13巻 第1号(通巻第25号)] (1963.7)

論文

兌換銀行券のいわゆる「転化」問題(その2)	
——飯田教授の「二重の本質と二重の運動」に関連して—— ……松井安信	1
一般的利潤率形成の論理	
——『資本論』体系における生産価格と価値法則との関連について—— ……降旗節雄	45
大戦間におけるアメリカの資本市場と投資銀行 ……森 杲	91

[第13巻 第2号(通巻第26号)] (1963.10)

論文

流通形態論の基本構造	
——宇野理論にたいする諸批判をめぐって—— ……降旗節雄	1
資本主義ロシアにおける賃金 ……荒又重雄	72
北海道における商業の現況と動向 ……三浦 収	163

[第13巻 第3・4号(通巻第27号)] (1964.1)

経済学部創立十周年記念号

記念号によせて ……前田新太郎	
——経 済 篇——	
綿紡績業の経済構造 ……伊藤俊夫	1
記録投票の結果分析	
——ILOの一断面—— ……新川士郎	23
利子率の変動と貸付貨幣資本の存在形態としての銀行券	
——とくに飯田理論の考察並に若干の統計実証——	

……………松井安信	55
無償用役と国民所得(続) ……長谷部 亮一	93
明治初年弘前藩の「帰田法」をめぐる地主と農民 ……長岡新吉	117
貨幣論の方法	
——『資本論』体系における世界貨幣の論理について—— ……降旗節雄	147
アメリカ合衆国に於ける経済発展と地域経済 ……原田和幸	179
戦後日本の固定資本投資	
——分析とその方法—— ……富森虔児	207
——経 営 篇——	
両大戦間のアメリカ大会社の企業金融	
——研究ノート(1)—— ……鎌田正三	235
ペイトンにおける低価主義の否定 ……菅原秀人	259
多数雇主方式の経営年金制度	
——米国における経営年金制度の研究—— ……眞野 脩	291
戦後アメリカにおける企業資金の需給 ……中村通義	318
北大経済学研究総目次 第1号～第27号(筆者別)	

[第14巻 第1号(通巻第28号)] (1964.6)

論文

マスケープ著『財政理論』における均衡成長政策への批判 ……前田新太郎	1
ペイトンの後入先出法観 ……菅原秀人	11
「貨幣の資本への転化」の方法的考察	
——『資本論』体系における資本の必然性の論証について—— ……降旗節雄	43
資本主義ロシアにおける労働時間 ……荒又重雄	111
大戦間のアメリカ鉄鋼業(1) ……森 杲	153
Progress and Coordination: A Study of Mathematical Analyses of Dynamic Growths and Static Distributions ……Tadashi Watanabe	177
資 料	
Climate as a Factor of Industrial Location ……Kaz(u)yuki Harada	183

[第14巻 第2号 (通巻第29号)] (1964.9)

論文

棚卸資産の評価損益について …菅原秀人 1
 明治初年弘前藩における「帰田法」の推移と帰結
 ……長岡新吉 13
 『資本論』体系における論理と歴史
 ……降旗節雄 55
 戦後日本の蓄積源泉 ……富森虔児 107
 大戦間のアメリカ鉄鋼業 (2) …森 杲 147
 戦後アメリカの商業銀行と企業金融 (その1)
 ……中村通義 189

[第14巻 第3号 (通巻第30号)] (1964.12)

論文

特殊棚卸資産会計 ……菅原秀人 1
 価値法則論 ……降旗節雄 31
 資本主義ロシアにおける労働市場
 ……荒又重雄 97
 戦後アメリカの商業銀行と企業金融 (そのII・完)
 ……中村通義 151

研究ノート

三者構成強化案とその反対論
 ——ILO第48回総会の討論から——
 ……新川士郎 187

[第14巻 第4号 (通巻第31号)] (1965.2)

論文

外貨バッファー政策と適正外貨保有量
 ……所哲也 1
 鈴木理論の根本問題
 ——「株式資本」範疇の把握を中心として——
 ……降旗節雄 39

債券投資会計

——ペイトン研究—— ……菅原秀人 111

資料

中部臨海工業地帯の立地条件 …伊藤俊夫 133
 経済学研究 第14巻 総目次

[第15巻 第1号 (通巻第32号)] (1965.6)

論文

「特別剰余価値」と「強められた労働」
 ……降旗節雄 1
 大恐慌下のアメリカ大会社の企業金融
 ……鎌田正三 33
 海外市場と戦後日本資本主義 (I)
 ……富森虔児 93
 Economic Development and Intellectual History in
 Japan ……Hiromi Ishigaki 139
 研究ノート
 経済成長と教育投資
 ——「モデル」批判——
 ……林昭健 169

[第15巻 第2号 (通巻第33号)] (1965.9)

論文

成長理論と分配理論の史的展開 [I]
 ……小林好宏 1
 現代物価論の問題点 ……松井安信 29
 商品流通と貨幣の諸機能
 ——遠藤茂雄氏の批判にこたえて——
 ……降旗節雄 63
 資本主義ロシアにおける労働環境と社会保険
 ……荒又重雄 109

[第15巻 第3・4号 (通巻第34号)] (1965.12)

論文

株式会社と自己金融 (その1) ……中村通義 1
 『財政々策と経済成長』のための序説
 ——アメリカ経済の停滞——
 ……林昭健 19
 海外市場と戦後日本資本主義 [II]
 ……富森虔児 55
 成長理論と分配理論の史的展開 [II]
 ……小林好宏 83

[第16巻 第1号 (通巻第35号)] (1966.3)

論文

「世界貨幣」と「資本の商人資本的形式」
 ——宇野弘藏教授の所説にたいして——
 ……降旗節雄 1

減税に関する一論 ……………林 昭 健 33	戦後日本の鉄鋼業 (I) ……………富 森 虔 児 116
株式会社と自己金融 (その2.完) ……………中 村 通 義 51	[第17巻 第1号 (通巻第39号)] (1967.3)
[第16巻 第2号 (通巻第36号)] (1966.8)	論 文
論 文	「弁証法的方法」についての覚え書 (承前)
経済成長の循環的ならびに趨勢的側面 ……………早 川 泰 正 1	——拙著への平野厚生・柴田信也両氏の批評に對して—— ……………降 旗 節 雄 1
日清戦後の恐慌と綿糸紡績業 (1) ——「産業資本確立期」にかんする一考察—— ……………長 岡 新 吉 67	第2次世界大戦におけるアメリカ経済の軍事化への転換 ——準備的考察—— ……………森 杲 51
補足的労務費の態様 ——企業福祉制度の研究 (1) —— ……………真 野 脩 133	労働力の価値の实在性と仮象性について ……………荒 又 重 雄 123
M. G. ケンダールの時系列解析論 ——いわゆる「自己回帰系列」およびその研究法について—— ……………近 昭 夫 179	文献紹介 W. M. コーデン「最近の国際貿易理論の発展」 ……………所 哲 也 21
[第16巻 第3号 (通巻第37号)] (1966.10)	[第17巻 第2号 (通巻第40号)] (1967.7)
論 文	論 文
完全雇用下における均衡予算の乗数効果 ……………前 田 新 太 郎 1	付加給付と賃金制度 ——企業福祉制度の研究 (III)—— ……………真 野 脩 1
減価償却法にたいするペイトンの見解 ……………菅 原 秀 人 9	戦後日本の鉄鋼業 (II) ……………富 森 虔 児 27
米国における従業員貯蓄制度について ——企業福祉制度の研究 (II) —— ……………真 野 脩 31	北海道における製造業の生産性、賃金・費用・価格構造の分析 ……………小 林 好 宏 61
研究ノート	日本資本主義の思想としての「家族国家観」 ……………久 世 了 107
「純粹資本主義」論への覚え書 ——拙著への伊藤誠氏の批評に對して—— ……………降 旗 節 雄 55	研究ノート アメリカ金融資本成立期における石油産業の位置について ……………森 杲 143
[第16巻 第4号 (通巻第38号)] (1966.12)	[第17巻 第3号 (通巻第41号)] (1967.9)
論 文	論 文
「弁証法的方法」についての覚え書 ——拙著への平野厚生・柴田信也両氏の批評に對して—— ……………降 旗 節 雄 1	帝政ロシアにおける労働契約規制 ——資本主義ロシアにおける労働市場 (補遺) —— ……………荒 又 重 雄 1
日清戦後の恐慌と綿糸紡績業 (2) ——「産業資本確立期」にかんする一考察—— ……………長 岡 新 吉 24	寡占経済の動態分析 [I] ……………小 林 好 宏 35
	研究ノート 北海道の移出 — 移入構造 ……所 哲 也 55
	トラスト形成後の U. S. スチール会社の資本蓄積 ……………森 杲 91

[第17巻 第4号 (通巻第42号)] (1967.12)	……………長岡新吉 1
論文	信用論の構造
賃金と報酬理論 ……………真野 脩 1	——日高晋『商業信用と銀行信用』の検討を中心と して—— ……………降旗節雄 65
帝政ロシア労働政策の展開過程 ……………荒又重雄 49	協働的労使関係論の展開 ——報酬理論の展開—— ……真野 脩 95
研究ノート	アメリカ独占資本形成期の移民労働力 ……………森 杲 149
ペンシルヴェニア鉄道会社における資本蓄積の展開 ……………森 杲 147	1917年ロシアにおける臨時政府の労働政策 ……………荒又重雄 219
[第18巻 第1号 (通巻第43号)] (1968.3)	
論文	
都市的集積の分析 ——スピーゲルマンの所説—— ……………伊藤俊夫 1	[第19巻 第1号 (通巻第47号)] (1969.3)
戦後日本の電気機械産業 ……富森虔児 25	論文
帝政ロシアにおける雇主組合 ……荒又重雄 87	国際社会政策の限界 ……………新川士郎 1
	人事管理と企業業績 ……………真野 脩 37
[第18巻 第2号 (通巻第44号)] (1968.7)	
論文	
報酬理論の展開 ——人事管理論序説—— ……真野 脩 1	[第19巻 第2号 (通巻第48号)] (1969.7)
寡占経済の動態分析 [Ⅱ] ……小林好宏 67	論文
	信用論の構造 (承前)
[第18巻 第3号 (通巻第45号)] (1968.11)	——日高晋「商業信用と銀行信用」の検討を中心と して—— ……………降旗節雄 1
論文	帝政ロシア労働政策の端初 ……荒又重雄 21
戦後日本の産業機械工業 ……………富森虔児 1	研究ノート
職務拡大と再訓練 ——報酬理論の展開—— ……真野 脩 55	戦後日本の造船業 (Ⅰ) ……………富森虔児 69
17・18世紀におけるアムステルダム仲継市場の金融構造 ——その系譜と継承—— ……石坂昭雄 75	
寡占経済の動態分析 [Ⅲ] ……小林好宏 169	[第19巻 第3号 (通巻第49号)] (1969.10)
研究ノート	論文
生産力としての労働力について ——暉峻義等博士に学ぶ—— ……………荒又重雄 229	ベルギー金融資本の成立と発展 (Ⅰ) ——ソシエテ・ジェネラルとブリュッセル銀行—— ……………石坂昭雄 1
	マルクスのアメリカ論 ……………森 杲 49
[第18巻 第4号 (通巻第46号)] (1969.1)	価値法則の歴史的意義 ——商品の物神崇拜性小論—— ……………荒又重雄 83
論文	寡占経済の動態分析 [Ⅳ] ……………小林好宏 113
日露戦後の恐慌と『不況の慢性化』の意義 (1)	研究ノート
	新古典派二部門モデルにおける生産可能性フロンティア と要素価格フロンティア ……若林信夫 153

[第19巻 第4号(通巻第50号)] (1970.3)

論文

- 1905年の革命と帝政ロシア労働政策
 ……荒又重雄 1
- 日露戦後の恐慌と「不況の慢性化」の意義(2)
 ……長岡新吉 43
- 寡占経済の動態分析[V] ……小林好宏 123

[第20巻 第1号(通巻第51号)] (1970.7)

論文

- 『利用時支払いによる資金調達』について
 ……林昭健 1
- ベルギー金融資本の成立と発展(Ⅱ)
 ——ソシエテ・ジェネラルとブリュッセル銀行——
 ……石坂昭雄 43

資料紹介

- 鈴木鴻一郎編「現代アメリカ資本主義年表」
 ……鎌田正三 17

[第20巻 第2号(通巻第52号)] (1970.9)

論文

- 企業行動論の展開と企業目的の設定
 ……真野脩 1
- プルーダンの経済学体系について
 ……佐藤茂行 57
- 「大戦好況期」における紡績資本の動向
 ……西川博史 99

[第20巻 第3号(通巻第53号)] (1970.11)

論文

- 賃労働と価値法則 ……荒又重雄 1
- 帝国主義研究における若干の問題点
 ……富森虔児 29
- 1920年代アメリカの工業電化と電気事業
 ……森 杲 73
- 北海道・北洋の季節移動労働問題(Ⅰ)
 ——慢性不況期から昭和恐慌期にかけて——
 ……筆宝康之 157

[第20巻 第4号(通巻第54号)] (1971.2)

論文

- 商品分析の根本問題 ……荒又重雄 1
- 帝国主義研究における二つの偏向
 ……富森虔児 35
- 1950年代におけるイタリア南部開発政策の意義
 ……斎藤隆夫 73
- ドイツ電機工業の独占形成過程(上)
 ……居城弘 113
- 組織の革新に関する一考察 ……小泉良夫 157

[第21巻 第1号(通巻第55号)] (1971.3)

論文

- 組織経済への接近
 ——バーナード理論の展開——
 ……真野脩 1
- 経済学の方法と帝国主義論 ……富森虔児 19
- 世帯消費行動とライフ・サイクル
 ——その理論的背景—— ……黒田重雄 95
- 「戦後反動恐慌」と綿糸紡績業の対策
 ……西川博史 155
- パルヴスと帝国主義
 ——論文「世界市場と農業恐慌」を中心に——
 ……河西勝 193
- アメリカにおける硫酸工業の成立
 ——アメリカ化学工業史研究(1)——
 ……水野五郎 223
- 伊藤俊夫教授 履歴・著書・論文 ……(1)

[第21巻 第2号(通巻第56号)] (1971.8)

論文

- イギリスにおける甜菜の生産構造
 ……伊藤俊夫 1
- 賃銀論展開における諸環について
 ——いわゆる「賃金論の展開方法」によせて——
 ……荒又重雄 29
- プルードンとヘーゲル主義 ……佐藤茂行 73
- 建設業における労資関係制度
 ——「監獄部屋」をめぐって——
 ……筆宝康之 107

[第21巻 第3号(通巻第57号)] (1971.11)

論文

- わが国繊維産業の現状と問題点
 ……伊藤俊夫 1
 業績評価と企業成長 ……真野脩 31

研究ノート

- プハーリンの経済理論
 —Peter Knirsch, Die Ökonomischen Anshaungen
 Nikolaj I. Bucharins 1959 の紹介を中心として— (1)
 ……嶺野修 63

[第21巻 第4号(通巻第58号)] (1972.3)

論文

- 戦後イタリアにおける国家持株会社政策論の展開
 ……斎藤隆夫 1
 ドイツ電機工業の独占形成過程(下)
 ……居城弘 59
 企業の技術革新と組織の均衡 ……小泉良夫 125
 パルヴスと帝国主義
 —『植民政策と崩壊』を中心に—
 ……河西勝 163

研究ノート

- プハーリンの経済理論
 —Peter Knirsch, Die Ökonomischen Anshaungen
 Nikolaj I. Bucharins 1959 の紹介を中心として— (2)
 ……嶺野修 195

[第22巻 第1号(通巻第59号)] (1972.5)

論文

- 経営学説におけるバーナードの位置
 ……真野脩 1
 レオン・ワルラスのプルドン批判について
 ……佐藤茂行 53
 フランスにおける企業金融
 —19世紀後半から第一次大戦まで—
 ……佐藤朋子 103
 国法銀行の理論と制度
 —アメリカ銀行制度の特殊的展開を中心に—
 ……高山洋一 141

[第22巻 第2号(通巻第60号)] (1972.9)

論文

- 産業別, 規模別マークアップ・レートについて
 ……小林好宏 1
 恐慌論の一面化過程の分析
 —第一次大戦前夜の「恐慌=再生産論争」(1896-
 1913) をめぐって—
 ……小沢光利 55
 レーニンの民族理論
 —レーニン国家論への一視角— (1)
 ……加藤克子 111

紹介

- 帝政ロシア労働政策(1855-1870)の新研究
 —Reginald. E. ZELNIK, *Labor and Society in
 Tsarist Russia —The Factory Workers of St. Pet-
 tersburg, 1855-1870—* ……荒又重雄 141

書評

- 都留重人著『公害の政治経済学』に学ぶ
 —現代社会保障論の再構成のために—
 ……筆宝康之 175

[第22巻 第3号(通巻第61号)] (1972.11)

論文

- 抽象的人間労働と社会的労働
 —複雑労働に関する拙論への降旗節雄氏の批判に
 よせて— ……荒又重雄 1
 産業別価格の趨勢における需要要因と費用要因
 ……小林好宏 35
 フランス企業の資本蓄積と信用制度
 —両大戦間期について—
 ……佐藤朋子 63
 ソヴェトにおける生産協議会の創出過程
 —社会主義における労働者階級の「生産管理参
 加」の一形態— ……富森孜子 117

[第22巻 第4号(通巻第62号)] (1973.1)

論文

- イギリス帝国主義研究への一接近
 ……富森虔児 1
 比較経済史学におけるアメリカ資本主義

- ……………森 泉 69
 ドイツの畜産発展と農業経営
 ——世紀交替期における農業政策の経済的基礎——
 ……………斎藤 幸雄 127
 レーニンの民族理論
 ——レーニン国家論への一視角—— (2)
 ……………加藤 克子 167
 『ザスーリチの手紙への回答』およびその『下書き』考
 ……………佐藤 正人 207
- [第23巻 第1号 (通巻第63号)] (1973.3)
論文
 企業組織の均衡に関する一考察
 ——バーナードとクルップ——
 ……………小泉 良夫 1
研究ノート
 ドイツ社会民主党の「農業論争」に関する若干の考察
 ……………河西 勝 41
 ネットワーク上の荷積問題 ……遠藤 薫 79
紹介
 スチェパーノフ「帝国主義論」について
 ……………日南田 静真 91
- [第23巻 第2号 (通巻第64号)] (1973.8)
論文
 プルードンと古典経済学
 ——プルードンとスミス——
 ……………佐藤 茂行 1
 管理者理念論の展開 ……………真野 脩 49
 わが国世帯消費行動に関するコーホート分析の若干の
 補足 ……………黒田 重雄 117
 連邦準備法案と準備券の本質 ……高山 洋一 147
研究ノート
 ミール共同体と農業集団化
 ——B. П. ダニエロフの見解によせて——
 ……………佐藤 正人 171
- [第23巻 第3号 (通巻第65号)] (1973.11)
論文
 価格、利潤率の直接規制と企業行動およびその厚生効果
- 展望と問題提起—— ……小林 好宏 1
 賃労働論の根本問題について
 ——筆宝康之氏の批判に答えて——
 ……………荒又 重雄 65
 『資本論』具体化をめぐる H. グロスマンの方法論的
 問題提起
 ——いわゆる「プラン問題」の性格づけのために——
 ……………小沢 光利 97
 1929年世界市場恐慌と本位貨恐慌
 ——第一次世界大戦の経済的意義の解明のために——
 ……………小林 真之 133
 消費の不均等分配と社会的時間選好率
 ……………酒井 徹 209
 レーニンの民族理論
 ——レーニン国家論への一視角—— (3)
 ……………加藤 克子 227
資料紹介
 G. アーデルマン編『1836年ライン州鋳工業事情・地
 区別統計』 ……………渡辺 尚 247
- [第23巻 第4号 (通巻第66号)] (1974.1)
論文
 帝国主義段階と農業問題
 ——大内力著『農業経済学序説』への批判的覚え書——
 ……………河西 勝 1
 減価償却の本質と減価償却基金の「拡大効果」
 ……………佐藤 朋子 39
 「領有法則の転回」について
 ——『経済学批判要綱』における転回論——
 ……………山本 哲三 77
 レーニンの民族理論
 ——レーニン国家論への一視角—— (4)
 ……………加藤 克子 123
紹介
 帝政ロシア労働政策に関するエリ・エム・イワノフの
 見解 ……………荒又 重雄 147
- [第24巻 第1号 (通巻第67号)] (1974.3)
 新川士郎教授退官記念号
論文

マルクスの「農耕共同体」論	——バーナード権威論の展開——		
——一つのテキスト・クリティーク——	……………小 泉 良 夫	201	
……………日南田 静 真	1		ラテン・アメリカ市場への英・米の進出
「相対的安定期」の分析視角	……………外 山 忠	235	——1820年代から第1次大戦前まで——
(その1) コミンテルンの世界経済論(1)	……………森 杲	19	産業国有化政策に関する一考察
……………森 杲	19		——イギリス公企業論の思想的系譜——
バーナードにおける内的均衡と外的均衡	……………真 野 脩	61	……………中 村 太 和
……………真 野 脩	61		293
消費関数論の展望と資産理論			
—T. Mayerの「標準所得理論」を中心として—			[第24巻 第3号(通巻第69号)](1974.9)
……………黒 田 重 雄	73		論 文
帝政ロシア『工場監督官報告集成』分析(第一報)	……………荒 又 重 雄	109	株式資本の本質とその高次展開
……………荒 又 重 雄	109		——鈴木芳徳氏の所説に關説して——
中国東北における糧棧の動向			……………富 森 虔 児
——満州事変前における——			1
……………石 田 武 彦	141		「相対的安定期」の分析視角
ドル危機と1961年マルク切上げ			(その1) コミンテルンの世界経済論(3)
——西ドイツの強蓄積と1957/58年世界恐慌との			(その2) 馬場宏二『世界経済・基軸と周辺』
関連において——	……………竹 中 英 泰	195	……………森 杲
……………竹 中 英 泰	195		23
満州事変以後の為替相場と物価			「土地合体資本」と地代論
……………浅 田 政 広	225		……………河 西 勝
……………浅 田 政 広	225		79
マルクスの株式会社論			調整費用モデルの展望と問題点
——『経済学批判要綱』の検討——			——企業の投資理論(1)——
……………松 原 智 雄	265		……………酒 井 徹
……………松 原 智 雄	265		107
資 料			産業国有化政策論
技術進歩と生産関数			——イギリス公共企業体を中心として——
——文献展望——	……………小 林 好 宏	293	……………中 村 太 和
……………小 林 好 宏	293		125
新川士郎教授 略歴・著作抄録	……………(1)		参入阻止価格理論の動学的考察
……………(1)			……………松 本 源 太 郎
			189
			A Reconsideration of the Neoclassical Theory of
			Economic Growth
			……………Mutsuhiro KATO
			213
[第24巻 第2号(通巻第68号)](1974.7)			
論 文			
自由貿易の基礎理論	……………所 哲 也	1	[第24巻 第4号(通巻第70号)](1974.12)
……………所 哲 也	1		論 文
「相対的安定期」の分析視角			オランダ共和国の経済的興隆と17世紀のヨーロッパ
(その1) コミンテルンの世界経済論(2)			経済
……………森 杲	121		——その再検討のために——
……………森 杲	121		……………石 坂 昭 雄
帝政ロシア『工場監督官報告集成』分析(第2報)	……………荒 又 重 雄	147	1
……………荒 又 重 雄	147		「相対的安定期」の分析視角
分散分析における組合せ計算について			(その3) 「中心国」アメリカの性格(1)
……………遠 藤 薫	185		……………森 杲
……………遠 藤 薫	185		67
管理革新の基礎(I)			

差額地代と収穫逓減法則について ……………河西 勝 93	ドイツ農業政策と農業者同盟 (1890-1914 年) ……………斎藤 幸雄 59
フランス証券市場の生成・発展過程について ——その株式会社との関りを中心にして—— ……………高山 朋子 119	経営における個人と組織の統合 ——バーナードとアーギリス—— ……………浜田 照久 89
「典型的循環」の起源 ——A. シュピートホフの経済変動論の方法的特質 ——……………小沢 光利 169	記号的経験としての態度形成 ——Amstutz モデルの一分析—— ……………八 嶽 幸信 109
ドル危機と「多国間平価調整」 ——米国と西独・日本の生産力構造の変遷を中心と して——……………竹中英 泰 203	Stabilization through Monetary Policy in a Grow- ing Economy in which the Persistent Inflation Prevails……………Mutsuhiro KATO 141
外国為替と国内信用動向 ——金準備と銀行利率を中心にして—— ……………大杉 賢明 245	[第25巻 第3号 (通巻第73号)] (1975.9)
コミンテルンと世界経済論 (1) ……………嶺野 修 295	論 文
領有法則転回論と経済学批判 ——資本蓄積論と転回論—— ……………山本 哲三 373	生産的労働論新考……………荒又 重雄 1
Dynamic Utility Maximization and the Derivation of Consumption Function……………Mutsuhiro KATO 449	資本物化の極限化過程としての現代資本主義 ……………富森 虔児 23
[第25巻 第1号 (通巻第71号)] (1975.3)	ケインズ「貨幣論」について…内田 和男 61
論 文	不完全競争企業の広告投資政策と需要創出効果 ——企業の投資理論 (2) —— ……………酒井 徹 71
2桁、3桁産業分類にもとづく産業別成長率の動向 ……………小林 好宏 1	国際金移動の研究 ——為替相場と利率の関連を中心にして—— ……………大杉 賢明 89
アメリカの対外政策と経済的進出 ——第1次大戦前を中心にして—— ……………外山 忠 41	独占的競争の理論と広告モデル ……………松本 源太郎 133
マルクスの利子生み資本論について ……………松原 智雄 89	バーナードの組織の適応に関する一考察 ……………小泉 良夫 159
On the Procedure for Dynamization of General Equilibrium Theory in Terms of Calculus of Vari- ations……………Mutsuhiro KATO 109	1920年代日本資本主義の貿易・産業構造 ——日本帝国主義分析の一試論—— ……………西川 博史 197
[第25巻 第2号 (通巻第72号)] (1975.6)	「労働力の価値または価格の労賃への転化」について ——表象・現象形態・外観—— ……………山本 哲三 277
論 文	[第25巻 第4号 (通巻第74号)] (1975.11)
購買者行動と確率過程モデル ——マルコフ過程モデルを中心として—— ……………黒田 重雄 1	論 文
	帝政ロシア『工場監督官報告集成』分析 (第3報) ……………荒又 重雄 1
	資本輸出の「必然性」について

.....外山 忠 33

組織の存続と経営参加

——バーナードとアーギリス——

.....浜田 照久 63

忘却モデルと認知的不協和理論

——Amstutz の消費者行動モデルにみる定式化の性格——八 嶽 幸 信 89

研究ノート

Dynamic Utility Maximization, Wealth Effect and Derivation of the Consumption Function: Further ConsideredMutsuhiro KATO 133

書評

宇野弘蔵監修『帝国主義の研究』2. 世界経済 (青木書店 1975年)松原 智雄

堀 一 郎

斎 藤 幸 雄

上 野 昌 美 141

[第26巻 第1号 (通巻第75号)] (1976.3)

論文

資本物化の極限化過程と「経営者支配」

.....富 森 虔 児 1

帝政ロシア『工場監督官報告集成』分析 (第4報)

.....荒 又 重 雄 33

13世紀の会計の発展

——Florence の会計帳簿を中心として——

.....早 川 豊 59

生産と消費の矛盾と資本蓄積

——富塚良三氏の「均衡蓄積軌道」をめぐって——

.....唐 渡 興 宜 89

株式資本論の理論的展開

——武井邦夫著『利子生み資本の理論』(時潮社, 1972年)によせて——松原 智雄 145

1920年代ドイツ資本主義論への一視角

——独占資本主義と「国民経済」——

.....大 泉 英 次 175

認知動感過程に関するマイクロ・シミュレーションの意義

——Nicosia モデル及び Amstutz モデルの比較検討を通じて——八 嶽 幸 信 207

研究ノート

経営における参加の効果の予測と検証

——バーナード理論の展開的一試論——

.....浜田 照久 237

[第26巻 第2号 (通巻第76号)] (1976.6)

論文

アメリカ企業金融史考 (1)

——19世紀終末～20世紀初頭のトラスト金融——

.....鎌 田 正 三 1

帝政ロシア『工場監督官報告集成』分析 (第5報)

.....荒 又 重 雄 37

資本蓄積と信用唐 渡 興 宜 77

「剰余価値の利潤への転化」について

.....山 本 哲 三 137

研究ノート

情報管理論の視角を求めて八 嶽 幸 信 179

[第26巻 第3号 (通巻第77号)] (1976.8)

論文

管理通貨制のもとでの流通法則

.....酒 井 一 夫 1

株式会社と自己金融・再論中 村 通 義 33

企業集団と産業組織 (1)小 林 好 宏 45

ドイツ信用恐慌とプリューニング政策

.....大 泉 英 次 87

第一次大戦とヒルファディングの帝国主義理論

.....上 条 勇 139

G. カッセルの購買力平価説と「管理通貨」論

.....紺 井 博 則 177

[第26巻 第4号 (通巻第78号)] (1976.11)

論文

アメリカ企業金融史考 (2)

——19世紀終末～20世紀初頭のトラスト金融——

.....鎌 田 正 三 1

企業集団と産業組織 (2)小 林 好 宏 41

企業形態としての株式会社森 泉 115

世界市場における競争と価値法則

.....唐 渡 興 宜 145

可変的労働供給と一般均衡モデル ……………内 田 和 男 193	コミンテルンと世界経済論 (2) ……………嶺 野 修 191
資本輸出と国際独占体 ——レーニンの把握について—— ……………外 山 忠 203	Ⅲ S. パールマンのロシア革命・農民運動論 ……………日南田 静 眞 233
国際金移動の研究 ——「為替信用代位説」との関連で—— ……………大 杉 賢 明 247	デュボン —— 1902年……………水 野 五 郎 251 「プチ・帝国主義」論争について ……………長 岡 新 吉 281
組織の存続における管理者の基本的役割 ——バーナード理論の展開——その (1) ……………浜 田 照 久 269	16 世紀におけるネーデルラント・プロテスタントの ドイツ散住 ——その経済史的概観—— ……………石 坂 昭 雄 307
1920 年代ソビエト農村社会の一特質について ——農家不分割政策の問題を通して—— ……………松 井 憲 明 293	「在華紡」の展開と中国綿製品市場の再編成 ……………西 川 博 史 351
研究ノート ネッブ初期の《狭状差》をめぐる党内論争 ——第 13 回党協議会を中心に—— ……………上 野 昌 美 345	鎌田正三教授略歴……………413 鎌田正三教授研究業績目録……………414
[第 27 卷 第 1 号 (通巻第 79 号)] (1977.3)	[第 27 卷 第 2 号 (通巻第 80 号)] (1977.5)
鎌田正三教授退官記念号 献辞……………林 善 茂 i	論 文 「超過利潤」に関する覚え書 ……唐 渡 興 宜 1 流動性選好についての一考察 ……内 田 和 男 47 マクロ体系の不均衡分析 ……松 本 源 太 郎 59
論 文 Ⅰ バーナードにおける組織 ……………眞 野 脩 1	コミンテルンと世界経済論 (3) の 1 ……………嶺 野 修 89
転化問題の方法的考察 ……………降 旗 節 雄 25	組織の存続における管理者の基本的役割 ——バーナード理論の展開——その (2) ……………浜 田 照 久 109
株式会社と平均利潤……………中 村 通 義 41	ヒルファディングの「組織された資本主義」論 (1) ……………上 条 勇 127
合名-合資-株式会社の論理 ——大塚久雄『株式会社発生史論』の場合—— ……………森 杲 59	J. M. ケインズの為替相場論について ……………紺 井 博 則 153
Ⅱ 企業集団と産業組織 ——再論——……………小 林 好 宏 85	研究ノート レーニンと「労働者調査」……………荒 又 重 雄 181
現代資本主義化の諸相 ——アメリカとフランス—— ……………富 森 虔 児 137	書 評 W. B. ウォルフ著, 日本バーナード協会訳「バー ナード経営学入門」……………眞 野 脩 191
ドイツ農業問題の分析方法に関する覚え書 ……………斎 藤 幸 雄 169	サン・シモン主義の経済学者, ミシェル・シュヴァ リエ……………佐 藤 茂 行 199
	[第 27 卷 第 3 号 (通巻第 81 号)] (1977.8)

論文

過渡的地代論によせて

——土地所有と賃労働・序説——

……………荒又重雄 1

資本蓄積と信用(続)

——その対外的側面の考察——

……………唐渡興宜 31

資本輸出研究序説……………佐々木隆生 81

コミンテルンと世界経済論(3)の2

……………嶺野修 103

ヒルファディングの「組織された資本主義」論(2)

……………上条勇 141

社会主義経済建設過程における中国農村経済の変遷
(その1)……………村岡伸秋 177

[第27巻 第4号(通巻第82号)](1977.10)

論文

資本輸出研究序説(続)……………佐々木隆生 1

企業の短期動学モデルと最適在庫調整

……………加藤陸洋 19

社会主義経済建設過程に於ける中国農村経済の変遷
(その2)……………村岡伸秋 49

研究ノート

企業理論と不確実性……………内田和男 99

[第28巻 第1号(通巻第83号)](1978.3)

酒井一夫教授退官記念号

献辞……………松井安信 i

論文

I

公信用と信用制度……………松井安信 1

商業信用・引受信用・銀行信用

——貨幣取扱資本の再評価とその具体化を通じて——

……………海保幸世 23

アメリカにおける1933年信用恐慌

——その性格規定をめぐって——

……………小林真之 55

世界市場と世界貨幣

——外国為替論の具体化のために——

……………大杉賢明 91

我国における金政策の変遷について

……………浅田政広 117

ハロッドの「投資の生産力効果」と「適正成長率」

……………居城舜子 139

II

『日本資本主義分析』論争の再検討

——日本帝国主義論史の角度から——

……………長岡新吉 171

フランス初期社会主義と信用改革

——「金融封建制」をめぐって——

……………佐藤茂行 207

世界経済論と宇野理論……………森 杲 229

「資本」概念の省察……………唐渡興宜 249

資本輸出研究序説……………佐々木隆生 299

第2次大戦期におけるアメリカ鉄鋼業

——第2次大戦下のアメリカ経済の特質をめぐって——

……………堀 一郎 315

分散型生産管理情報システムへの方向

……………八 欽 幸 信 369

酒井一夫教授履歴……………397

著書ならびに論文……………399

[第28巻 第2号(通巻第84号)](1978.6)

論文

アメリカ企業金融史考(3)

——19世紀終末~20世紀初頭の大企業金融——

……………鎌田正三 1

ショック・アブゾーバー仮説とその有効性

……………小野 浩 47

ヒルファディングの「組織された資本主義」論(3)

……………上条 勇 59

マルクス歴史理論の史的展開

その1. 貨幣財産と土地財産 —— 遺稿『ヘーゲル国
法論の批判』ノートを中心に——

……………松原智雄 87

研究ノート

スウェーデンの主要企業における所有=支配の特質

……………富森 虔 児 111

[第28巻 第3号(通巻第85号)](1978.8)

論文	
低成長と過剰能力 ……………	早川泰正 1
米国上院小委員会報告書の会計批判とその反応 ……………	早川豊 15
鉅害賠償規定の成立過程	
——鉅業法改正調査委員会議事録および第74回帝 国議会議事録の検討を中心に—— ……………	吉田文和 利根川治夫 73
ソヴェト数理的計画論における社会主義経済構造把握 の特徴について ——最適経済機能システム論、生産関数論を中心に—— ……………	岩崎俊夫 163
西ドイツ巨大企業における機関・法人株主と被備経営者 ——銀行の企業支配との関連で—— ……………	山口博教 195
翻訳	
R. ヒルファディング「資本主義発展の固有の法則性」 ……………	上条勇 247

[第28巻 第4号(通巻第86号)] (1978.11)

論文	
株式会社における所有 ——「所有と経営の分離」論ノート—— ……………	森 杲 1
CASBの原価計算基準の生成及び問題点 ……………	早川豊 49
リービヒ『農耕の自然法則・序説』と『資本論』 ……………	吉田文和 125
中国東北における産業の状態について ——1920年代を中心に——(その1) ……………	石田武彦 143
「再建金本位制」期の為替問題(1) ——国際的な公信用論の解明のために—— ……………	大杉賢明 179
ヒルファディングの「組織された資本主義」論(4) ……………	上条勇 221
研究ノート	
帝政ロシア労働政策研究史小論 ……………	荒又重雄 281

覚書	
Barro-Grossmanの「均衡」モデルに関する覚書 ……………	内田和男 313
[第29巻 第1号(通巻第87号)] (1979.3)	
経済学部創立25周年記念号	
経済学部創立25周年記念号の出版にあたって ……………	松井安信 i
論文	
フランクフルト学派統計学の略図 ……………	内海庫一郎 1
経済理論とパラダイムの階層転移 ……………	長尾昭哉 25
北海道の踏鋤 ……………	林善茂 37
南北問題の現状 ——ある横断面分析—— ……	所哲也 61
都市的便益の最適供給 ——広域生活圏を中心に—— ……………	小林好宏 77
現代資本主義と腐朽性 ……………	富森虔児 103
銘柄占有率と購買者行動 ——確率過程論的理論形成—— ……………	黒田重雄 121
フロー・ショップ スケジューリング問題の下界につ いて ……………	関口恭毅 139
恐慌の抽象的可能性 ——商品に内在する諸矛盾とその実現する運動形態—— ……………	唐渡興宣 163
リービヒのStoffwechsel論 ……………	吉田文和 189
第一次大戦前夜のヒルファディング ——社会主義と帝国主義—— ……………	上条勇 207
新中国初期における農具工業の動向 ——双輪双鋤犁を中心として—— ……………	村岡伸秋 237
購買意図調査からの購買者比率の推定 ——主観確率的接近法による定式化—— ……………	佐藤芳彰 269
覚書	

世界経済論の方法に関する覚書
 ……佐々木 隆 生 289

研究ノート

管理理論における数理的モデルの展開
 ——サイモンの初期の研究を中心として——
 ……八 嶽 幸 信 309

書 評

クルト・ゴスヴァイラー著 熊谷一男編訳「現代ファ
 シズムと金融資本」1977年5月 未来社 ii + 204 +
 viiページ ……中 村 通 義 331

[第29巻 第2号 (通巻第88号)] (1979.5)

論 文

フランクフルト学派統計学の略図 (続)
 ……内 海 庫 一 郎 1
 株式の規模分布と経営者行動 ……小 林 好 宏 23
 多国籍企業の Transfer Pricing の問題点
 ……早 川 豊 79
 マルクスの Stoffwechsel 論 ……吉 田 文 和 139

[第29巻 第3号 (通巻第89号)] (1979.8)

論 文

アメリカ企業金融史考 (4)
 ——両大戦間の大企業金融——
 ……鎌 田 正 三 1
 ニューヨーク・セントラル鉄道会社の成立
 ……森 杲 51
 西ドイツ現行会計実務の問題点
 ……早 川 豊 139
 価値と生産価格 ……唐 渡 興 宜 171
 生産力と生産力破壊 ……吉 田 文 和 183
 第2次大戦期におけるアメリカ戦時生産の実態につ
 いて (1) ……堀 一 郎 231
 ドイツ11月革命とヒルファディングの社会化論 (1)
 ……上 条 勇 279
 産業連関論的経済分析の有効性について
 ……岩 崎 俊 夫 313

研究ノート

「無償の自然力」と資源・環境問題
 ……吉 田 文 和 363

[第29巻 第4号 (通巻第90号)] (1979.11)

論 文

低成長下における企業の投資行動
 ……早 川 泰 正 1
 帝政ロシア『工場監督官報告集成』分析 (第6報)
 ……荒 又 重 雄 17
 大量生産体制の歴史的 성격
 ——塩見治人『現代大量生産体制論』によせて——
 ……森 杲 49
 マルクス主義における自然・人間・技術
 ……吉 田 文 和 69

研究ノート

社会的費用論の批判的検討
 ——宮本憲一氏と W. カップの所説を中心に——
 ……吉 田 文 和 109
 西ドイツ株式会社における企業金融
 ——資本集中、企業・銀行合併との関連で——
 ……山 口 博 教 127

[第30巻 第1号 (通巻第91号)] (1980.3)

大爺栄一教授退官記念号

献辞 ……石 垣 博 美 i

論 文

I
 バーナードの管理者教育論
 ……眞 野 脩 1
 商業環境と地域性
 ——消費者意識調査による予備的研究——
 ……黒 田 重 雄 25
 0-1 整数計画法のファセットについて
 ……関 口 恭 毅 65
 ウィリアムソン研究 (その1)
 ——バーナードからウィリアムソンへ (1) ——
 ……齋 藤 直 機 83
 II
 2部門ケインズモデルにおける有効需要政策
 ……内 田 和 男 107
 産業連関分析と経済予測
 ——RAS 方式による投入係数修正の妥当性について——
 ……岩 崎 俊 夫 121

取引動機にもとづく貨幣需要の一面面

- スティグラ教授のサーチ理論の応用——
 ……………成 田 淳 司 143

Ⅲ

「二重の帝国主義」論の成立 (1)

- ……………長 岡 新 吉 163

帝国主義段階論について (1) ……中 村 通 義 181

「プロテスタンティズム—資本主義論争」をめぐる戦後の研究動向

- ヘルベルト・リューティの所説を中心に——
 ……………石 坂 昭 雄 195

ライン西インド会社の難破

- 産業革命期ラインラント・ベストファーレンの貿易構造に関するノート——
 ……………渡 辺 尚 215

ドイツ化学工業における独占体の成立 (1)

- ……………加 来 祥 男 239

日中戦争下における三菱財閥の再編過程 (1)

- ……………浜 淵 久 志 263

研究ノート

1863年農村労働者雇用臨時規則と1870年労働者後見協会案

- 『ロシア労働政策史』補遺——
 ……………荒 又 重 雄 293

資料

北海道と北歐四か国

- 経済部門を中心とした発展水準の比較——
 ……………所 哲 也 307

翻訳

ソ連における「技術の発展の内的法則性」論

- ユー・エス・メレシチェンコの所説——
 ……………吉 田 文 和 325

紹介

中国農業近代化をめぐる調整期の一論文

- ……………村 岡 伸 秋 345

大爺栄一教授略歴 …………… 361

大爺栄一教授研究業績目録 …………… 363

[第30巻 第2号 (通巻第92号)] (1980.6)

論文

帝政ロシア『工場監督官報告集成』分析 (第7報)

- ……………荒 又 重 雄 1

ドイツ化学工業における独占体の成立 (2)

- ……………加 来 祥 男 31

戦後国際経済関係再編成の構想と原理

- 戦後国際経済関係再編成の基本論理 1.——
 ……………佐 々 木 隆 生 83

人工成長率の低下と年金制度 ……今 泉 佳 久 115

消費者店舗選択行動と店舗管理

- 店舗属性に対する態度要因による選択店舗業態の判別分析—— ……………佐 藤 芳 彰 127

ウィリアムソン研究 (その1)

- バーナードからウィリアムソンへ (2) ——
 ……………齋 藤 直 機 151

第2次大戦期におけるアメリカ戦時生産の実態について (2) ……………堀 一 郎 183

研究ノート

経済システム論の一考察

- システム論の社会主義経済論 (計画論) への適用における問題点—— ……………岩 崎 俊 夫 251

[第30巻 第3号 (通巻第93号)] (1980.11)

論文

「二重の帝国主義」論の成立 (2)

- ……………長 岡 新 吉 1

米国における1960年代後半の買収活動と会計 (1)

- ……………早 川 豊 31

鉄鋼合弁企業における技術移転 (I)

- ……………米 山 喜 久 治 97

長期経営計画の環境適応

- 実証研究—— ……………小 島 廣 光 157

オットー・パウアーの「経済領域」論

- ……………上 条 勇 235

日中戦争下における三菱財閥の再編過程 (2)

- ……………浜 淵 久 志 257

1970年代西ドイツにおける銀行論争

- ユニバーサル・バンクの勢力をめぐって—— (上)
 ……………山 口 博 教 307

多目的計画問題の解法研究の分類と検討

- ……………渡 辺 昭 夫 323

1930年代のイギリス自動車工業	——地域性問題を中心とした消費者意識の都市間比較実態調査——	黒田重雄	235
——6大企業の形成とその資本蓄積—— (1)			
……………中本和秀			339
乗数とインフレーション			
——失業をとまなうインフレへのヒックスのアプローチ——		鎌田正三	273
……………久保田義弘			361
研究ノート			
2部門ケインズモデルに関する覚書			
——S. Chakrabarti『The Two-Sector General Theory Model』によせて——		中本和秀	347
……………内田和男			391
[第30巻 第4号 (通巻第94号)] (1981.3)			
早川泰正教授退官記念号			
献辞		石垣博美	i
論文			
I			
マクロモデルにおける利潤率と利子率		内田和男	1
……………			
貨幣の直接効果		成田淳司	21
インフレーションと貨幣賃金率			
——失業をとまなうインフレへのヒックスのアプローチ——		久保田義弘	49
共有財産の非効率的な利用について		平沢亨輔	71
……………			
II			
公信用と信用制度再論			
——荒牧正憲教授のご教示に答う——		松井安信	91
……………			
帝国主義段階論について (2)		中村通義	111
……………			
オーギュスト・ワルラスの土地国有論		佐藤茂行	129
……………			
「資源配分」と労働の二重性 ……荒又重雄			149
《所有》とは、本来いかなるものであったか?		唐渡興宣	167
……………			
III			
北海道製造企業の成長分析 ……真野 脩			
……………佐藤芳彰			195
消費者行動と商業環境			
——地域性問題を中心とした消費者意識の都市間比較実態調査——		黒田重雄	235
アメリカ企業金融史考 (5)			
——両大戦間の大企業金融——		鎌田正三	273
……………			
米国における1960年代後半の買収活動と会計 (2)		早川 豊	321
……………			
1930年代のイギリス自動車工業			
——6大企業の形成とその資本蓄積—— (2)		中本和秀	347
……………			
早川泰正教授と経済変動理論 ……小林好弘			369
……………			
早川泰正教授略歴			373
……………			
早川泰正教授研究業績			375
[第31巻 第1号 (通巻第95号)] (1981.6)			
論文			
続北海道製造企業の成長分析			
——多変量解析による補足——		真野 脩	
……………		佐藤芳彰	1
米国における1960年代後半の買収活動と会計 (3)		早川 豊	15
……………			
鉄鋼合弁企業における技術移転 (II)		米山喜久治	55
……………			
不確実性下における競争企業への課税効果		内田和男	85
……………			
石炭産業における労働過程と労働手段		吉田文和	107
……………			
『金融資本論』と「組織された資本主義」論			
——方法論的考察—— ……上条 勇			121
……………			
1970年代西ドイツにおける銀行論争			
——ユニバーサル・バンクの勢力をめぐって—— (中)		山口博教	153
……………			
日中戦争下における三菱財閥の再編過程 (3)			
……………		浜淵久志	187
……………			
コミンテルンと世界経済論 (3) の3			
……………		嶺野 修	223
[第31巻 第2号 (通巻第96号)] (1981.8)			
論文			

バーナードの企業観 …………… 眞野 脩 1	[第31巻 第4号(通巻第98号)] (1982.2)
複雑労働論補遺	論文
——W. リープクネヒトおよびO. バウアーの所説 によせて—— …………… 荒又重雄 25	価格安定政策の厚生効果 …………… 小林好宏 1
商業者意識と行動にみる地域性	鉄鋼合弁企業における技術移転(Ⅲ)
——都市間比較実態調査——	…………… 米山喜久治 35
…………… 黒田重雄 37	太平洋戦争期における三菱財閥の再編過程(2)
米国原油・ガス探査・開発・生産会社の会計・原価計 算基準 …………… 早川豊 83	…………… 浜淵久志 69
経営管理システムの環境適応 …… 小島廣光 149	1920年代ニュージャージー・スタンダード石油会社 の世界企業活動(2) …………… 伊藤孝 113
鉱区所有と資本 …………… 吉田文和 193	研究ノート
ウィリアムソン研究(その2)	イギリス大企業の経営戦略と組織
——単位モデルと条件適合的接近——	——イギリス企業における多角化戦略と事業部制の 普及に関して—— …………… 中本和秀 151
…………… 齋藤直機 213	
信用制度と金銀の流出入について	[第31巻 第5号(通巻第99号 臨時号)] (1982.3)
——1857年恐慌の過程を中心に——	論文
…………… 石田高生 229	鉄鋼合弁企業における技術移転(Ⅳ)
商品論と商品生産の所有法則 …… 清野康二 281	…………… 米山喜久治 1
コメンテルンと世界経済論(3)の4	0-1ナップサック問題の初等的ファセットに基づく 解法 …………… 関口恭毅 27
…………… 嶺野修 313	アンドリュー・ユア『製造業の原理』とマルクス ——マルクス「機械論」形成史研究(1)——
[第31巻 第3号(通巻第97号)] (1981.11)	…………… 吉田文和 53
論文	日本の消費者支出関数 …………… 成田淳司 117
私的所有の世界 …………… 唐渡興宣 1	クラブ財の政府による供給とその費用負担
ドイツ化学工業独占体の展開 …… 加来祥男 25	——バークラスの理論とその展開——
情報処理モデル …………… 小島廣光 73	…………… 平沢亨輔 145
太平洋戦争期における三菱財閥の再編過程(1)	
…………… 浜淵久志 107	[第32巻 第1号(通巻第100号)] (1982.6)
賃金政策とインフレーション	第100号記念号
——失業下のインフレ—— …… 久保田義弘 135	第100号を記念して …………… 菅原秀人 i
ウィリアムソン研究(その3)	論文
——複合階層組織の形態発展段階モデル(1)——	労働組合の参加形態と企業成長
…………… 齋藤直機 161	——北海道企業の実態—— …… 眞野脩 佐藤芳彰 1
1920年代ニュージャージー・スタンダード石油会社 の世界企業活動(1) …………… 伊藤孝 175	ロシア資本主義における労使関係について
職務充実のパワー関連構造モデル	——辻義昌著『ロシア革命と労使関係の展開』によ せて—— …………… 荒又重雄 49
…………… 村上伸一 217	経済学における政府の位置づけ
国際小麦協定(1933年)の成立と挫折	——ヴァージニア学派を中心に——
…………… 柳川博 249	

……………小林好宏 73

社会の危機 ……………唐渡興宜 111

基本年金制度について ……………今泉佳久 141

中国江蘇省南京市江寧県秣陵人民公社調査分析 (1)

……………村岡伸秋 159

IS・LM 体系と財政政策

——ヒックスの IS・LM 体系の拡張——

……………久保田義弘 203

アメリカにおける工業研究 (研究開発) の成立

——デュボン, GE, AT & T を中心にして—— (1)

……………鈴木良始 227

北海道大学「経済学研究」総目次 (自第 1 号 至第 100 号) …………… (1)

[第 32 卷 第 2 号 (通巻第 101 号)] (1982.8)

論文

乗数と政府予算制約についての一考察

——貸付資金モデルによる分析——

……………内田和男 1

チャールズ・バベジ『機械と製造業の経済論』の分析

——マルクス「機械論」形成史研究 (2) ——

……………吉田文和 17

鉄鋼合弁企業における技術移転 (V)

……………米山喜久治 59

太平洋戦争期における三菱財閥の再編過程 (3)

……………浜淵久志 91

中国江蘇省南京市江寧県秣陵人民公社調査分析 (2)

……………村岡伸秋 139

アメリカにおける工業研究 (研究開発) の成立

——デュボン, GE, AT & T を中心にして—— (2)

……………鈴木良始 185

研究ノート

北海道製造企業の類型について

——成長性との関係において——

……………真野脩

……………佐藤芳彰 219

所得税率のインフレ効果

——ヒックス的アプローチ——

……………久保田義弘 239

[第 32 卷 第 3 号 (通巻第 102 号)] (1982.11)

論文

ヴァージニア学派の財政理論

——リヴァイアサン国家における財政制度——

……………小林好宏 1

巨大会社と「資本家の物化」 ……富森虔児 19

労働の非人間化と賃労働 ……………荒又重雄 51

社会主義経済における耐久消費財の価格, 品質および取引税

——1970 年代ポーランドの家庭用電気冷蔵庫の場合——

……………吉野悦雄 69

『諸国民の産業』と『資本論』

——マルクス「機械論」形成史研究 (3) ——

……………吉田文和 85

鉄鋼合弁企業における技術移転 (VI)

……………米山喜久治 117

太平洋戦争期における三菱財閥の再編過程 (4)

……………浜淵久志 137

相対賃金率とインフレーション

——ヒックスの方法によるフィリップス曲線の説明——

……………久保田義弘 177

職務特性の知覚とシンボル・マネジメント

——Moberg (1981) の発展に向けて——

……………村上伸一 195

ヒルファディング「金融資本」概念の再検討

……………上条勇 229

研究ノート

「農業革命」研究の動向と課題

……………田淵淳一 269

[第 32 卷 第 4 号 (通巻第 103 号)] (1983.3)

論文

CASB の権限委譲 ……………早川豊 1

政治と経済におけるマルクスの新しい歴史観

——政治経済学序説—— ……唐渡興宜 75

ロバート・ウィリスの機構論とマルクス

——マルクス「機械論」形成史研究 (4) ——

……………吉田文和 125

太平洋戦争期における三菱財閥の再編過程 (5)

……………浜淵久志 145

アメリカにおける工業研究（研究開発）の成立 ——デュボン, GE, AT & Tを中心にして—— (3) ……………鈴木 良 始 173	……………平 澤 亨 輔 38 「利潤」と「資本の生産力」 ——マルクスにおける「利潤」カテゴリー成立の論理——
IS・LM 体系と資本ストック ——ヒックスの IS・LM 体系の拡張—— ……………久保田 義 弘 233	……………亀 田 正 人 56 都市の最適規模と均衡規模 ……五十嵐 智嘉子 75
研究ノート	所有と物象化 (1) ——『資本論』における所有論の展開—— ……………浅 見 克 彦 88
続 労働組合の参加形態と企業成長 ——規模別分析—— ……真 野 脩 ……………佐 藤 芳 彰 253	組織改革と組織の神話 ——組織文化論の展開—— ……村 上 伸 一 111
「農業革命」研究の動向と課題 (続) ……………田 淵 淳 一 271	
[第33巻 第1号 (通巻第104号)] (1983.6)	[第33巻 第3号 (通巻第106号)] (1983.12)
論文	論文
官僚制組織論の展開 ——バーナードとジャックス—— ……………真 野 脩 1	都市の成長と地域間人口移動 ……小 林 好 宏 1 恐慌論批判 ——「資本の流通過程」と恐慌の発展した可能性—— ……………唐 渡 興 宜 24
操作技術の所有権と経済厚生 ……………小 林 好 宏 38	経済不均衡と貨幣 ——活動残高と遊休残高—— ……………内 田 和 男 45
J. H. M. ポッペ『テクノロジーの歴史』とマルクス ——マルクス「機械論」形成史研究 (5) —— ……………吉 田 文 和 50	三月前期ハプスブルク (オーストリア・ハンガリー) 帝国の貿易構造 ——1831年-1847年—— ……………御園生 真 57
19世紀中葉におけるベーメン (チェコ) 機械制綿紡績業の成立 ……御園生 真 84	低開発国における潜在的失業 ——停滞原因の一般均衡分析—— ……………佐 藤 泰 久 77
両大戦間期におけるアメリカ「小麦問題」の特質 ——モンタナ州を事例として—— ……………柳 川 博 112	明治期陸海軍工廠における特殊鋼生産体制の確立 ……………長谷部 宏 一 88
個別企業に見る“暑い秋” ……斎 藤 隆 夫 140	産業合理化期の作業集団と労務政策 ——昭和初期の鉄道車輛工場 (苗穂・盛岡) を事例として—— ……小 路 行 彦 107
[第33巻 第2号 (通巻第105号)] (1983.9)	マルクスの「資本の弾力性」について ……………宮 田 和 保 133
論文	研究ノート
賃労働論再論 ……荒 又 重 雄 1	一人当実質国内総生産の国際比較 ——クラビス・ヘストン・サマーズ・モデルとの対比—— ……………所 哲 也 153
ダーウィンのアナロジーとマルクス ——マルクス「機械論」形成史研究 (6) —— ……………吉 田 文 和 14	
鉄鋼合弁企業における技術移転 (7) ……………米 山 喜久治 27	
地代への課税による地域的公共財の資金調達 ——Henry George Theorem をめぐって——	[第33巻 第4号 (通巻第107号)] (1984.3)

論文	……………浅見克彦 115
青函トンネル建設の組織論的研究	研究ノート
……………小島廣光 1	ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (1)
ヘーゲルの目的論とマルクスの労働過程論	……………白井孝昌 148
——マルクス「機械論」形成史研究 (7) ——	[第34巻 第2号 (通巻第109号)] (1984.9)
……………吉田文和 31	論文
鉄鋼合弁企業における技術移転 (8)	労働力概念の擁護 ……………荒又重雄 1
……………米山喜久治 49	Sidney の分割アルゴリズムの統一理論
イングランド銀行の再割引停止 (1858年) と金融市場の再編	……………関口恭毅 14
……………石田高生 61	公的年金制度の成立をめぐる
イギリス資本主義農業の発展 (1660-1760)	……………今泉佳久 29
——とくに軽土地帯を中心として——	ヘーゲル『精神現象学』における疎外論と物象化論 (1)
……………田渕淳一 82	……………平子友長 37
太平洋戦争期における三菱財閥の再編過程 (6)	歴史主義と政治経済学 (2) ……唐渡興宜 50
……………浜淵久志 111	研究ノート
「総計一致2命題」と「マルクスの基本定理」	企業理論の展開方向
——利潤源泉論としての「基本定理」の再構成——	——展望—— ……………小林好宏 68
……………五味義 136	ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (2)
差別型寡占産業の資源配分効率	……………白井孝昌 83
——「価格バンド比率」による評価——	史料紹介
……………増田辰良 156	オーギュスト・ワルラスの所有論手稿
学界展望	……………佐藤茂行 103
賃労働論の展開と「プラン問題」	[第34巻 第3号 (通巻第110号)] (1984.12)
……………荒又重雄 172	論文
[第34巻 第1号 (通巻第108号)] (1984.6)	信用乗数と所得乗数 ……………内田和男 1
論文	青函トンネル建設の組織論的研究 (2)
株式会社の内部組織・企業形態および独占形態の相互	……………小島廣光 7
関連について ……………森 果 1	金融論の研究 (2) ……………濱田康行 45
サービス化, 情報化経済と集権, 分権	イギリス植民地銀行の変遷過程
……………小林好宏 24	——19世紀中葉を中心として——
歴史主義と政治経済学 (1) ……唐渡興宜 38	……………石田高生 65
金融論の研究 (1) ……………濱田康行 56	期待所得とその形成仮説の検定
W. シュルツ『生産の運動』と『資本論』	……………加藤 晃 94
——マルクス「機械論」形成史研究 (8) ——	セグメント別財務報告をめぐる米国会計基準設定構造
……………吉田文和 79	の特質 ……………米山祐司 106
「資本主義的蓄積の一般的法則」の成立と領有法則転	研究ノート
回論 ……………清野康二 91	ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (3)
所有と物象化 (2)	……………白井孝昌 152
——「資本論」における所有論の展開——	

[第34巻 第4号(通巻第111号)] (1985.3)

林 善茂教授 略歴	i
林 善茂教授 研究業績	iii
献辞	v

I

「講座派」理論の転回とアジア認識 ——平野義太郎の場合——	長岡新吉 1
日本植民地地下における朝鮮鉄道財政の展開過程	平井廣一 12
ヴェストプロイセンにおけるネーデルラント系メンノー 派コロニーの形成とその経済活動(1525-1772) (1)	石坂昭雄 33
いわゆる糞尿問題の顛末 (1) ——近代日本肥料問題の一断面——	田中愼一 54
南京政権の鉄道建設と対外関係 (上) ——粵漢鉄道への日本の対応を中心に——	萩原充 70

II

福祉国家論と社会政策学 ——福祉国家に関する戸原四郎氏と岡田与好氏の所 説によせて——	荒又重雄 89
地域間関係の密接性と人口移動	小林好宏 101
「日本の経営」とその経済基盤	富森虔児 117
マクロ不均衡論序説	内田和男 130
二重経済における経済発展 ——不均衡論の一接近——	佐藤泰久 146
経済的, 社会的, および法的交換の諸概念について (1) ——社会的交換と経済分析の手法——	白井孝昌 160
鉄鋼合弁企業における技術移転 (9)	米山喜久治 177

[第35巻 第1号(通巻第112号)] (1985.6)

論文 アメリカ会計理論の潮流	早川豊 1
ヴェストプロイセンにおけるネーデルラント系メンノー	

派コロニーの形成とその経済活動 (1525-1772) (2)	石坂昭雄 17
鉄鋼合弁企業における技術移転 (10)	米山喜久治 34
中国新農業政策展開の背景	村岡伸秋 47
価格不確実性下における競争企業の最適な投資および 稼働率の決定	板谷淳一 78
階層消費構造と産業組織 ——留保価格とマーケティング——	増田辰良 87
三菱グループ「金曜会」の株式投資 (1)	浜淵久志 103
南京政権の鉄道建設と対外関係 (下) ——粵漢鉄道への日本の対応を中心に——	萩原充 125

研究ノート

明治期陸海軍工廠研究とその問題点	長谷部宏一 144
ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (4)	白井孝昌 160

[第35巻 第2号(通巻第113号)] (1985.9)

論文

北海道中小企業の行動分析	眞野脩 八鍬幸信 1
模型の選択に対するベイズ方法論的演繹について	園信太郎 21
ヴェストプロイセンにおけるネーデルラント系メンノー 派コロニーの形成とその経済活動 (1525-1772) (3)	石坂昭雄 28
イングランド重土地帯における資本主義農業の展開 (1660-1760)	田淵淳一 58
「労賃」と労働の生産力	亀田正人 98
世界銀行の起源について	本間雅美 112

研究ノート

ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (5)	白井孝昌 147
-------------------------------	----------

資料

マルクス『テヒノロジー史抜粋ノート』を調査して	
-------------------------	--

.....吉田文和 173

紹介

帝政ロシアにおける婦人労働者(1880-1914)の新研究
—Rose L. Glickman, *Russian Factory Women, Workplace and Society, 1880-1914*—
.....荒又重雄 183

[第35巻 第3号(通巻第114号)] (1986.1)

松井安信教授退官記念号

松井安信教授 略歴..... i

松井安信教授 研究業績..... iii

献辞.....長岡新吉 v

論文

I

「所有」と巨大株式会社.....富森慶児 1

イギリス4大銀行の中小企業金融
.....濱田康行 9

戦後国際経済関係再編成と「国際協力」
—戦後国際経済関係再編成の基本論理(2)—
.....佐々木隆生 25

公的年金と経済生長.....今泉佳久 36

ニューヨーク金融市場とドルの国際化の一階梯
—連邦準備制度の設立に関する証言の国際的側面—
.....高山洋一 42

「総資本(独占)の共同利害」論と国家所有
—電力国家管理—戦後九分割をめぐる—
.....中村太和 58

金・ドル交換停止と新自由主義
.....竹中英泰 69

II

バーナードの視角.....真野脩 93

軍拡・軍縮の経済学.....森 杲 111

マルクス『機械論草稿』の執筆時期について
—内田弘氏の拙論批判への回答—
.....吉田文和 126

シャルル・フーリエと共同性.....大塚昇三 136

鉄鋼合弁企業における技術移転(11)
.....米山喜久治 148

青函トンネル建設の組織論的研究(3)
.....小島廣光 157

古典派経済学と恐慌論争(1)
—リカードゥとマルサス—
.....森下宏美 173

研究ノート

マーケティングとしての広告戦略:展望
—価格への効果を中心として—
.....増田辰良 185

書評

Ian Gough 著 *The Political Economy of the Welfare State*.....荒又重雄 196

[第35巻 第4号(通巻第115号)] (1986.3)

石垣博美教授退官記念号

石垣博美教授 略歴..... i

石垣博美教授 研究業績..... iii

献辞.....長岡新吉 v

I

サン・シモン教について
—サン・シモン主義と宗教的社会主義—
.....佐藤茂行 1

リカードゥ新機械論の論理.....遠藤哲弘 17

市民社会批判と人間の自由(1)
—「自由と必然性とのあいだの争い」をめぐる—
.....宮田和保 33

II

外貨建て金銭債権・債務の会計処理について
.....菅原秀人 54

バーナードの能率と有効性概念
.....真野脩 68

消費者意識調査における質問項目の感度分析
.....黒田重雄 80

III

政府の経済分析の展開方向.....小林好宏 99

ケインズ投資理論再考
—流動性と資本価値—.....内田和男 106

貯蓄, 不確実性, 社会保障.....今泉佳久 122

単純なベイズ学習，母数空間の制限，及び，Berger
の見解について ……………園 信太郎 130

総供給関数の検定 ……………加 藤 晃 140

職場組織と経営民主化運動 (1)
——戦後初期労働運動の実体——
……………小 路 行 彦 148

研究ノート

商品価値の「実体主義的規定」と「関係主義的規定」
によせて ……………荒 又 重 雄 165

[第36巻 第1号 (通巻第116号)] (1986.6)

論文

金融論の研究 (3) ……………濱 田 康 行 1

職場組織と経営民主化運動 (2)
——戦後初期労働運動の実体——
……………小 路 行 彦 15

古典派経済学と恐慌論争 (2)
……………森 下 宏 美 37

オットー・パウアーのソビエト・ロシア論
……………上 条 勇 49

研究ノート

ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (6)
……………白 井 孝 昌 73

[第36巻 第2号 (通巻第117号)] (1986.9)

論文

均衡価格を求めるアルゴリズムとしてのシンプレック
ス法 ……………永 田 信 1

蓄積論の成立と領有法則転回論
……………清 野 康 二 18

市民社会批判と人間の自由 (II)
——「自由と必然性とのあいだの争い」をめぐる——
……………宮 田 和 保 41

職場組織と経営民主化運動 (3)
——戦後初期労働運動の実体——
……………小 路 行 彦 59

研究ノート

ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (7)
……………白 井 孝 昌 78

[第36巻 第3号 (通巻第118号)] (1986.12)

論文

国鉄と電電公社の環境適応 ……小 島 廣 光 1
広告に就いて (1)

——消費者行動の経済理論序説——

……………永 田 信 18

「リカード派」社会主義者の資本概念
……………浅 見 克 彦 28

外貨表示財務諸表換算会計の再編過程
——アメリカ多国籍企業の海外子会社の連結問題——
……………米 山 祐 司 55

古典派経済学と恐慌論争 (3)
——リカードとマルサス——
……………森 下 宏 美 79

職場組織と経営民主化運動 (4.完)
——戦後初期労働運動の実体——
……………小 路 行 彦 91

研究ノート

東ヨーロッパ農村の調査ノート
……………牛 山 敬 二 113

ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (8)
……………白 井 孝 昌 137

アメリカ国防経済論の形成過程
——第2次大戦後の経済政策における軍事要因——
……………森 泉 171

資料紹介

マルクス『引用ノート』における「機械」
……………吉 田 文 和 205

書評

佐合絃一著『企業財務と証券市場 ——アメリカ株式
会社金融の成立——』
……………中 村 通 義 232

[第36巻 第4号 (通巻第119号)] (1987.3)

論文

Savageの行為の或抽象化，Dedekindの数，個人的確
率，及び，von Neumann-Morgenstern 効用，につい
て ……………園 信太郎 1

金融論の研究 (4)
——金融論の始点としての蓄蔵貨幣の研究——

……………濱田康行 17	……………萩原充 63
徳星金山	独占禁止政策と産業組織
——北海道産金史研究—— ……浅田政広 39	——独占禁止法 18 条の 2 をめぐって——
研究ノート	……………増田辰良 82
レーニンと「労働者調査」(追補)	シャルル・フーリエと階級調和の方策
……………荒又重雄 53	——「資本」の分配を中心に——
ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (9)	……………大塚昇三 101
……………白井孝昌 60	J. S. ミルの賃銀・利潤相反論 ……遠藤哲広 114
史料紹介	生産力の発展と剰余価値 ……亀田正人 127
三菱美唄礦業所の労務統計 (1925 年 9 月)	研究ノート
……………小路行彦 95	数値的 Laplace 逆変換について
	……………木村俊一 144
[第 37 卷 第 1 号 (通巻第 120 号)] (1987.6)	ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (11)
論文	……………白井孝昌 156
社会主義経済の課題と労働価値説	
——ヤ・ア・ペヴズネルの研究に寄せて——	[第 37 卷 第 3 号 (通巻第 122 号)] (1987.12)
……………荒又重雄 1	論文
初期状態・合成仕事と多機械フロー・ショップ問題の	専売公社の環境適応 ……小島廣光 1
解法 ……関口恭毅 17	鉄鋼合弁企業における技術移転 (13)
鉄鋼合弁企業における技術移転 (12)	……………米山喜久治 13
……………米山喜久治 31	マレーシアにおける日系輸出指向企業
IBRD 協定成立の基本論理	……………穴沢真 29
——「ブレトン・ウッズ体制」の原点についての一	道徳的危険と医療保険 ……高橋誠一 50
考察 (1) —— ……本間雅美 43	研究ノート
静狩金山	ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (12)
——北海道産金史研究—— ……浅田政広 79	……………白井孝昌 60
研究ノート	情報ネットワークの性能評価手法：拡散近似
ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (10)	……………木村俊一 97
……………白井孝昌 102	
[第 37 卷 第 2 号 (通巻第 121 号)] (1987.9)	[第 37 卷 第 4 号 (通巻第 123 号)] (1988.3)
論文	論文
官僚行動の理論と日本型組織 ……小林好宏 1	パレートとミル ……佐藤茂行 1
所得決定のメカニズム ……内田和男 17	複雑労働概念の理論的意義
目的税について ……今泉佳久 31	……………荒又重雄 13
金融論の研究 (5)	いわゆる糞尿問題の顛末 (2)
——蓄蔵貨幣への需要・借手の研究——	——近代日本肥料問題の一断面——
……………濱田康行 42	……………田中慎一 29
中国における製鉄業の展開過程	サヴェジ氏の哲学に対する簡潔なる序説
——南京政権期の経済建設の一側面——	……………園信太郎 48
	マルサス『人口論』の経済社会像

.....森 下 宏 美 62	サヴェジ書における殆ど一様な分割 (1) 定義園 信太郎 76
イタリアにおける階級的労働組合の生成過程		
.....斎 藤 隆 夫 78		
研究ノート	[第38巻 第3号 (通巻第126号)] (1988.12)	
アメリカ国防予算の編成過程	論文	
——Richard A. Stubbing, “The Defense Game”	鉄鋼合弁企業における技術移転 (15)	
の紹介と補足——米 山 喜久治 1	
.....森 泉 95	金融論の研究 (6)	
ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (13)	——銀行業への道——	
.....白 井 孝 昌 126濱 田 康 行 24	
[第38巻 第1号 (通巻第124号)] (1988.6)	金解禁 (昭和5~6年) の歴史的意義	
論文	——井上準之助の緊縮財政政策——	
産業組織論のパラダイムと官僚制の経済分析吉 田 賢 一 47	
.....小 林 好 宏 1	資本の有機的構成概念の再検討	
対米自動車輸出自主規制の経済効果 1981-83	——技術的構成と価値構成——	
.....小 野 浩 23清 野 康 二 79	
サヴェジ氏の定量的確率, に対する, 従属選択の原理	研究ノート	
を伴う一個の簡潔なる接近	社会情報の真実性について	
.....園 信太郎 36是 永 純 弘 93	
研究ノート	ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (16)	
北海道企業と首都圏企業白 井 孝 昌 99	
——業績面からの比較——	[第38巻 第4号 (通巻第127号)] (1989.3)	
.....真 野 脩 85	論文	
ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (14)	ニューヨーク・エリー鉄道の建設	
.....白 井 孝 昌 113森 泉 1	
M/G/s 待ち行列に対する拡散近似の展開	鉄鋼合弁企業における技術移転 (16)	
.....木 村 俊 一 158米 山 喜久治 39	
[第38巻 第2号 (通巻第125号)] (1988.9)	銀行信用の展開と預金・発券 (1)	
論文岡 部 洋 實 55	
鉄鋼合弁企業における技術移転 (14)	研究ノート	
.....米 山 喜久治 1	パレートの『社会主義体系』序論とエリート論	
青函トンネル建設の組織論的研究 (4・完)佐 藤 茂 行 74	
.....小 島 廣 光 22	ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (17)	
研究ノート白 井 孝 昌 84	
サービス需要関数についての一試論	サヴェジ書における殆ど一様な分割 (2) 定量的確率	
.....小 林 好 宏 32園 信太郎 118	
ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (15)	資料	
.....白 井 孝 昌 39	A. Я. ヒンチン 「R. ミーゼスの確率論と現代の確率	
	観」(解説・付記 B.B. グネディエンコ)	

.....是永純弘 144林 啓 瑞 99
[第39巻 第1号 (通巻第128号)] (1989.6)	
論文	
バーナード理論における Lateral Organization の位置真野 脩 1	戦略と組織 ——日本企業を対象とするマイルズ=スノウ理論の 検証——平本健太 129
オランダ植民地支配とジャワ農村の労働力編成 ——強制栽培期の砂糖生産地帯を中心に——宮本謙介 8	ブレトン・ウッズ協定の批准と過渡期の「国際協力」 ——「ブレトン・ウッズ体制」の原点についての一 考察 (2)-1——本間雅美 158
プファルツ選帝侯国 (ライン・プファルツ) における ネーデルラント系カルヴァン派亡命者コロニーの形成 とその経済活動 (1562~1622) ——ドイツにおける改革派領邦国家とネーデルラン ト系来住者—— (1)石坂昭雄 40	研究ノート ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (19)白井孝昌 182
研究ノート	個人的確率に関するリンドレー氏のパズルについて園 信太郎葛西俊治 214
外国人労働者政策の分析視角について ——社会政策論の立場からの批判的提言——荒又重雄 70	[第39巻 第3号 (通巻第130号)] (1989.12)
中国の先進的企業における経営管理の現状 ——北京内燃機総場実態調査報告——田 波関口恭毅 85	論文 改訂賃労働理論講義 (1)荒又重雄 1
ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (18)白井孝昌 94	経済学原理と近代国民国家 ——近代国民国家の政治経済学 1.——佐々木 隆 生 23
サヴェジ書における殆ど一様な分割 (3) 精密比較の 公準園 信太郎 121	鉄鋼合弁企業における技術移転 (17・完)米山喜久治 35
[第39巻 第2号 (通巻第129号)] (1989.9)	国際マーケティング戦略に関する比較研究 ——日本と韓国の企業の海外戦略要因を中心に——李 性 熙 68
論文	ブレトン・ウッズ協定の批准と過渡期の「国際協力」 ——「ブレトン・ウッズ体制」の原点についての一 考察 (2)-2——本間雅美 90
いわゆる「後半体系」の構図について ——村岡俊三著『世界経済論』評注——荒又重雄 1	研究ノート ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (20)白井孝昌 116
エリア・マーケティングにおける一視点 ——所得、消費支出格差の地域間比較——黒田重雄 26	[第39巻 第4号 (通巻第131号)] (1990.3)
国際価値論序説佐々木 隆 生 40	論文
創業期の北海道炭礦鉄道株式会社 ——1889年~1897年——宮下弘美 60	バーナードとサイモンの組織均衡論 ——サイモンの誤謬——真野 脩 1
プロダクト・イノベーションのための組織 ——電気機器業界における日台企業の実態調査——	パレートのデュルクム批判佐藤茂行 11
	いわゆる糞尿問題の顛末 (3・完) ——近代日本肥料問題の一断面——田中慎一 23

オランダ植民地支配とジャワの在り地首長層 ……………宮本謙介 65	荒又重雄 106
銀行信用の展開と預金・発券(2・完) ……………岡部洋実 85	フランスの消費者行動と商業環境 ……………黒田重雄 116
シャルル・フーリエの「愛の新世界」と資産配分 ……………大塚昇三 108	[第40巻 第2号(通巻第133号)](1990.9)
購買力平価説と貨幣数量説 ——名目的為替相場の発現過程—— ……………吉田賢一 124	論文
調整費用のマクロ経済学的含意 ……………宮下徹 147	戦後日本社会政策の基本構造 ——研究序説——……………荒又重雄 1
英米金融協定成立の政治経済学(1) ——「ブレトン・ウッズ体制」の原点についての一 考察(3)——……………本間雅美 159	収穫逡増経済の基本問題 ……………小山光一 24
研究ノート	金融論の研究(7・完)……………濱田康行 38
外国人労働者政策の分析視角について、補遺 ——軽視できないいくつかの理論問題—— ……………荒又重雄 180	垂直的差別化と関税の効果……………千葉隆生 57
独占的競争の理論と産業内貿易 ……………小野浩 187	研究ノート
ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について(21) ……………白井孝昌 194	パレートの虚偽意識論 ——『社会主義体系』序論の場合—— ……………佐藤茂行 72
[第40巻 第1号(通巻第132号)](1990.6)	1880年代ジャワの税役制度と農村諸階層 ……………宮本謙介 83
論文	書評
ジャワ王侯領経済史序説……………宮本謙介 1	今井賢一・小宮隆太郎編『日本の企業』(東大出版会 1989年)をめぐって ——書評と若干の展望——……………小林好宏 101
数値的確率の値域に対する或算術的接近 ……………園信太郎 26	[第40巻 第3号(通巻第134号)](1990.12)
近代社会の普遍性と国民性 ——近代国民国家の政治経済学2.—— ……………佐々木隆生 38	論文
欧州共同体の共通通商政策の政治経済学 ——1970年～1973年の対日共通通商政策の展開を 中心にして——……………安藤研一 50	実践の哲学 ——現象学的マルクス主義への序—— ……………唐渡興宣 1
英米金融協定成立の政治経済学(2) ——「ブレトン・ウッズ体制」の原点についての一 考察(3)——……………本間雅美 79	サヴェジ書第二版の80頁における脚註に現われる、 有界効用について……………園信太郎 30
研究ノート	改訂賃労働理論講義(2)……………荒又重雄 41
討論・世界経済論の方法について ……………村岡俊三	19世紀中葉のイギリス資本輸出とアメリカ鉄道業 ……………宮下郁男 58
	研究ノート
	公組織と私組織の比較研究……………小島廣光 86
	[第40巻 第4号(通巻第135号)](1991.3)
	論文
	「満州国」臨時産業調査局の農村実態調査について ……………長岡新吉 1

パレートとクローチェ ……佐藤茂行 26

「労働者」から「生産者」へ
 ——ロシア革命における「生産者」の萌芽と否定——
 ……杉本龍紀 39

日本と韓国の総合商社の経営比較研究
 ——経営成果に影響を与える要因分析を中心に——
 ……李性熙 66

研究ノート

確率概念に対する或初等的講義のための、一つの素案
 ……園信太郎 85

[第41巻 第1号(通巻第136号)] (1991.6)

論文

日本の戦後民主主義と戦後社会政策の構造的特質
 ——戦後日本社会政策の基本構造研究序説・補遺——
 ……荒又重雄 1

新製品開発組織の革新性と創造性に対する影響要因
 ——台湾・新竹科学工業園区の実証研究——
 ……林啓瑞 17

研究ノート

パレートとイデオロギー論 ……佐藤茂行 43

ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (22)
 ……白井孝昌 57

ロバートソン『銀行政策と物価水準』についての覚書
 ……内田和男 96

[第41巻 第2号(通巻第137号)] (1991.10)

論文

パレート社会主義論の形成 ……佐藤茂行 1

簿記と財務諸表監査の関係 ……吉見宏 12

研究ノート

ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (23)
 ……白井孝昌 31

Boiteux 均衡の非効率性について
 ……小山光一 44

貨幣の「購買力」について
 ——「代表金量」論か「貨幣数量説」か——
 ……吉田賢一 48

[第41巻 第3号(通巻第138号)] (1991.12)

論文

リカードイアン国際価値論と資本輸出
 ……佐々木隆生 1

リカードウの“strong cases” ……佐々木憲介 15

サヴェジ書の第1章第2節2頁の末尾の行に現われる
 形容詞 extramathematical について
 ……園信太郎 35

我が国レストラン企業の競争戦略—組織特性—組織成
 果に関する実証研究 ……平本健太 51

研究ノート

ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (24)
 ……白井孝昌 80

[第41巻 第4号(通巻第139号)] (1992.3)

是永純弘教授退官記念号

是永純弘教授 略歴 …… i
 是永純弘教授 研究業績 …… iii
 献辞 ……佐藤茂行 v

論文

I

サヴェジ書における objectivistic views 批判について
 ……園信太郎 1

ソ連における国民経済計算体系の方向転換
 ——MPSとSNAとの統合——
 ……岩崎俊夫 22

VDT 障害と統計的仮説検定
 ——VDT 労働と妊娠婦結の関係について——
 ……木村和範 34

官庁統計データによる所得分配の分析
 ——主として申告所得者の所得分配状況——
 ……山口忠利 45

情報公開制度
 ——北海道の現状と情報化社会における新しい制度
 への展望—— ……村松幹男 57

II

ヴィクトル・コンシダランの分配論
 ——『社会的運命』(1834-1838)を中心に——
 ……大塚昇三 69

自己意識と社会的意識の形成の論理
 ——社会的労働過程の視角から——

.....宮田和保 83	とその経済活動 (1562~1622)
マルクスにおける価値実体規定について	——ドイツにおける改革派領邦国家とネーデルラント系来住者—— (2)石坂昭雄 17
.....小黒正夫 96	所有構造, 役員構成, 支配類型と企業のパフォーマンス
役員の兼任・派遣による企業間関係の測定方法について	——日本の化学・機械・電気機器産業に関する実証研究——汪志平 43
.....汪志平 107	時間意識・人格・欲望
新規事業開発のプロセスと企業家精神	——「労働過程」(『資本論』第1部第5章第1節)の視角から——宮田和保 57
——ネットワーク論の視点から——	
.....曾浩 125	
研究ノート	研究動向
北海道職安業務統計の抽象性	諸外国におけるインドネシア経済史研究
——データ不突合の積極的利用に基づく一考察——	——植民地社会の成立と構造——
.....岡部純一 137宮本謙介 77
Price Index と Performance Index の関係について	
——Liquidity への配慮と Income Gain の取扱いを中心にして——広田真人 149	[第42巻 第3号 (通巻第142号)] (1992.12)
ジェヴォンズの経済学の数学化	論文
——M. シャバスの見解を中心として——	ネットワーク活動を通じた事業創造のプロセス
.....成島辰巳 160	——優佳良織工芸館のケース——
曾浩 1
[第42巻 第1号 (通巻第140号)] (1992.6)	組織内エコロジー
論文	——バーゲルマン・モデルの展開——
集権的社会主義の失敗と市場経済化森康一 16
——伊藤誠著「現代の社会主義」に寄せて——	独占禁止法の運用成果：昭和22-63年
.....富森虔児 1増田辰良 32
垂直的に差別化された財の貿易	研究ノート
——ヘクシャー・オリーン・アプローチ——	待ち行列における近似の試み木村俊一 55
.....千葉隆生 14	一般化された凸関数とレベル集合
研究ノート田中嘉浩 65
損害賠償責任ルールにおける最適化問題とインセンティブメカニズム小林好宏 31	ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (26)
税制と企業金融小山光一 47白井孝昌 71
ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (25)	
.....白井孝昌 52	[第42巻 第4号 (通巻第143号)] (1993.3)
	論文
[第42巻 第2号 (通巻第141号)] (1992.9)	政策主体としての国家の本質小林好宏 1
論文	サヴェジ基礎論における術語 world について(1)
廃棄物の処理と再資源化の諸問題園信太郎 21
.....小林好宏 1	現代中国における消費者行動分析
プファルツ選帝侯国 (ライン・プファルツ) における	——北京市における消費実態調査を中心にして——
ネーデルラント系カルヴァン派亡命者コロニーの形成李海峰 48
	研究ノート

オーストラリアの消費者行動と商業環境
 ……黒田重雄 64

ソ連軍による旧満州鉄道施設の解体・撤出問題について
 ……王 強 86

ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (27)
 ……白井孝昌 97

[第43巻 第1号 (通巻第144号)] (1993.6)

論文

プファルツ選帝侯国 (ライン・プファルツ) における
 ネーデルラント系カルヴァン派亡命者コロニーの形成
 とその経済活動 (1562~1622)
 ——ドイツにおける改革派領邦国家とネーデルラン
 ト系来住者—— (3・完) ……石坂昭雄 1

垂直的差別化, ヘクシャー・オリーン定理, そしてレ
 オンチェフ・パラドックス ……千葉隆生 44

「形態的包摂」および「実質的包摂」における資本の
 支配概念について (I) ……宮田和保 54

邦銀の BIS 規制対応とマネーサプライ伸び率の低迷
 について
 ——その関連性と今後の展望——
 ……秋森 弘 81

研究ノート

ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (28)
 ……白井孝昌 104

[第43巻 第2号 (通巻第145号)] (1993.9)

論文

事故の社会的費用と抑止のインセンティブ
 ……小林好宏 1

サヴェジ基礎論における術語 world について (2)
 ……園 信太郎 14

東ドイツにおける工業企業の国家管理 (1945~79年)
 ——人民所有企業連合とコンビナート——
 ……白川欽哉 38

研究ノート

ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (29)
 ……白井孝昌 71

翻訳

ヴァレリー・クリショフ「ペレストロイカ：幻想の前

と後」 ……翻訳 杉本龍紀
 解説 荒又重雄 105

[第43巻 第3号 (通巻第146号)] (1993.12)

論文

新鋭工場の建設・操業と職場管理
 ……米山喜久治 1

我が国ボランティア組織の戦略と組織特性に関する実
 証研究 ……小島廣光 28

J. S. ミルの具体的演繹法 (1) ……佐々木 憲 介 67

商品交換制の崩壊と貨幣の復権
 ——1920年代初頭ソビエト社会の一側面——
 ……杉本龍紀 85

新しい事業の創造と展開のプロセス
 ——要素の分化と結合を中心にして——
 ……曾 浩 110

資本のもとへの労働の包摂と資本関係の神秘化
 ……畠山益実 128

金解禁問題と石橋湛山
 ——新旧両平価概念の現代的評価——
 ……吉田賢一 153

[第43巻 第4号 (通巻第147号)] (1994.3)

長岡新吉教授退官記念号

長岡新吉教授 略歴 …… i

長岡新吉教授 研究業績 …… iii

献辞 ……小林好宏 vi

論文

I

20世紀末北海道農業の再編成
 ——農家の高齢化・リタイア化・農用地過剰の顕
 在化—— ……牛山敬二 1

工業地域と国境
 ——ドイツ・ベネルックス・フランス・スイス国境
 工業地域の形成過程の事例研究——
 ……石坂昭雄 19

エルバーフェルト制度 1853-1861年
 ……加来祥男 35

明治肥料経済史の一齣 ……田中慎一 47

アメリカの対日政策の転換と中国の動向

.....西川博史 73	計算機によるミクロ経済学学習	
戦前期日本織物業の産地組合組織	——インターネットの利用——	
.....合田昭二 93田中嘉浩 86	
樺太植民地財政の成立		
——日露戦後～第一次大戦期——		
.....平井廣一 109		
南京国民政府の中央鋼鉄廠建設計画をめぐって		
.....萩原充 127		
日露戦後北海道炭礦汽船株式会社の経営危機		
.....宮下弘美 140		
II		
原理論における株式会社論の可能性		
.....岡部洋實 162		
サヴェジ、レオナルド ジミイ、による1961年の講義における個人的確率について		
.....園信太郎 176		
研究ノート		
1946年～8年の我が国鉄生産における原料調達の一側面		
——強粘結炭の調達を中心に——		
.....長谷部宏一 188		
調査報告		
ジャカルタの労働市場と不安定就業		
.....宮本謙介 205		
[第44巻 第1号(通巻第148号)] (1994.6)		
論文		
マクロ的マーク・アップ率の計測		
——貯蓄・投資アプローチによる消費者物価関数の推定——		
.....内田和男 1		
国際会計における一本化の問題		
.....吉見宏 9		
J. S. ミルの具体的演繹法(2・完)		
.....佐々木憲介 17		
合衆国鉄道証券の発行とロンドン資本市場の再編成		
——「19世紀末大不況」期に焦点をあてて		
.....宮下郁男 35		
タイ大企業の人事管理		
.....スッターウォン・ソールット 53		
研究ノート		
	[第44巻 第2号(通巻第149号)] (1994.9)	
	論文	
	事故の抑止に関する経済分析	
	——責任制度を中心に——	
小林好宏 1	
	為替レートと財政・金融政策のマクロ経済学	
内田和男 19	
	サヴェジ基礎論における術語 world について(3)	
園信太郎 31	
	市場経済移行下のロシア労働市場	
杉本龍紀 60	
	「有効需要」とカール・マルクスの経済学	
	——「一般化された貨幣数量説」は真に貨幣数量説か——	
吉田賢一 83	
	[第44巻 第3号(通巻第150号)] (1994.12)	
	眞野 脩教授退官記念号	
	眞野 脩教授 略歴..... i	
	眞野 脩教授 研究業績..... iii	
	献辞..... 小林好宏 xii	
	論文	
	I	
	戦略的情報システムの新局面	
	——BPR・EUC 視点との統合——	
八 欽 幸 信 1	
	組織概念と顧客満足	
	——バーナード理論の展開——	
浜田照久 10	
	組織存続のメカニズム.....村上伸一 21	
	国際機関の人事制度.....横山和子 33	
	プロダクト・イノベーションの成功分析	
	——台湾・シンガポールにおけるサイエンスパーク	
	入居企業の組織比較——.....林 啓 瑞 47	
	II	
	比較マーケティング	
	——研究内容とその展望——	

.....黒田重雄 67
我が国ボランティア組織のマクロ分析
.....小島廣光 79
企業組織の活性化と労働組合の新しい機能
——M労組の事例研究—— …工藤剛治 95

研究ノート

途上国の発展水準計測に関する一試論
.....所哲也 112
経営情報化に関する大学における研究法の一提案
.....関口恭毅 116

[第44巻 第4号 (通巻第151号)] (1995.3)

佐藤茂行教授退官記念号

佐藤茂行教授 略歴..... i
佐藤茂行教授 研究業績..... i

論文

I

匿名フリーエ主義者のブルードン批判
——「ブルードン氏への反駁」(ファランジュ紙)
を中心に——大塚昇三 1

II

市場的社會関係と合理化過程 …唐渡興宜 20
明治肥料経済史の一断面 …田中愼一 44
商品交換と「価値表現」
——カール＝メンガーの価値論の含意——
.....岡部洋實 65
J. S. ミルにおける生産の法則…佐々木憲介 82
競争と動態の概念
——市場価値論の課題——
.....西部忠 99

サヴェジ基礎論における術語 world について (4)
.....園信太郎 118

外国為替相場変動の二重性
——理論分析の変遷と市場現象——
.....吉田賢一 147

翻訳

ルーヨ・ブレンターノ『企業家』
.....翻訳 加来祥男 168

[第45巻 第1号 (通巻第152号)] (1995.5)

所哲也教授退官記念号

所哲也教授 略歴..... i
所哲也教授 研究業績..... i

論文

I

マレーシアの工業化と日系企業
.....穴沢真 1
フリー・トレード・ゾーンと都市における失業
.....船津秀樹 19
「局地経済圏」の構造仮説
——「連結の経済性」概念による空間・経済・制度
の構造化——北村倫夫 28
北海道開発事業の波及効果分析
.....鍋島芳弘 41

子供の経済分析西村巧 54

II

戦後日本の自動車産業の発展 …小野浩 68
多数財リカードゥ型モデルと国際資本移動
.....佐々木隆生 77
市場的社會関係と合理化過程 (2)
——資本制的生産様式と合理化過程——
.....唐渡興宜 86

研究ノート

中国の消費者行動と商業環境 …黒田重雄 108

[第45巻 第2号 (通巻第153号)] (1995.6)

中村通義教授退官記念号

中村通義教授 略歴..... i
中村通義教授 研究業績..... i

論文

I

アメリカ経済史におけるメカニク
.....森 杲 1
戦後日本工作機械工業の展開
——昭和20～40年代——長尾克子 30
ニューディールにおける地域計画
——大平原北部の土地撤退計画を事例として——
.....柳川博 46

II

ベルギーの経済発展とヨーロッパ経済

——その経済史的考察 (1830-1914) ——		マルサスにおける帰納と演繹	
……………石坂昭雄	61	……………佐々木憲介	35
J. S. ミルにおける分配の法則の成立根拠		サヴェジ基礎論における術語 world について (5)	
……………佐々木憲介	77	……………園信太郎	49
研究ノート		市場の多層的調整機構 (上)	
比較マーケティングと国際市場細分化		——最短期と短期における価格・数量調整——	
……………黒田重雄	94	……………西部忠	69
我が国における企業不正事例 (1)		研究ノート	
……………吉見宏	109	ケインズ『一般理論』私注 賃金基金説の系譜について (30)	
		……………白井孝昌	96
[第45巻 第3号 (通巻第154号)] (1995.11)		価値と労働	
論文		——価値法則の論証に関する覚え書き——	
経済学におけるインターネットの利用		……………岡部洋實	137
……………田中嘉浩	1	我が国における企業不正事例 (3)	
市場的な社会関係と合理化過程 (3)		……………吉見宏	146
……………唐渡興宣	9		
企業内労使関係の新たな形成		[第46巻 第1号 (通巻第156号)] (1996.6)	
——キリンビール株式会社の事例研究——		論文	
……………工藤剛治	29	審査役監査の本質と監査役監査基準	
市場環境とマーケティング戦略の有効性		……………蟹江章	1
——製造企業における2時点比較——		企業における情報創造の組織的メカニズム	
……………佐藤耕紀	52	……………崔光	17
郷鎮企業の本質		ポーランドの民営化と企業改革	
——その企業エネルギーの根源を問う——		……………富森虔児	40
……………富森虔児	69	為替相場の「名目的」変動と購買力平価説	
戦間期の樺太財政と森林の払下		——「外国為替相場変動の二重性」再論——	
……………平井廣一	81	……………吉田賢一	53
世代重複モデルにおけるキャピタル・ゲイン及び投資		覚書	
レントの効果について		持ち家帰属家賃の寄与度について	
……………宮下徹	108	……………内田和男	69
研究ノート		研究ノート	
我が国における企業不正事例 (2)		我が国における企業不正事例 (4)	
……………吉見宏	115	……………吉見宏	72
[第45巻 第4号 (通巻第155号)] (1996.3)		[第46巻 第2号 (通巻第157号)] (1996.9)	
論文		論文	
事故と安全の経済分析		サービス産業の分析視点	
——事故, 犯罪の社会的費用——		……………小林好宏	1
……………小林好宏	1	国際振替価格の設定における国際課税の影響分析	
産業内貿易と海外直接投資の理論		——米国 IRC 482 条改正を中心として——	
……………小野浩	17	……………山口直也	18

成熟産業における新事業の創造	サヴェジ基礎論における術語 world について (6)
——新たなビジネス・システムの構築とマーケティング・イノベーション—— …坂本英樹 41	……………園信太郎 30
研究ノート	フランスのディスクロージャー制度の枠組みと実情
1920年代 General Electric 社における福利厚生	……………蟹江章 55
……………鈴木良始 61	研究ノート
我が国における企業不正事例 (5)	マネーフローからみたマクロ経済のバランスと経済厚生
……………吉見宏 77	……………小林好宏 76
	我が国における企業不正事例 (7)
	……………吉見宏 82
[第46巻 第3号 (通巻第158号)] (1996.12)	最近のインターネット事情と経済学
論文	……………田中嘉浩 91
経済学の視点からみた土地法規制	
……………小林好宏 1	[第47巻 第1号 (通巻第160号)] (1997.6)
非営利組織のマネジメント研究	論文
……………小島廣光 8	フランスの監督報告書の構造と分析
ルーマンの学問システム論をめぐる一考察	……………蟹江章 1
……………橋本努 58	互酬の交換と等価交換
日本における職場の人間関係と企業福祉	——再生産経済体系における価格の必要性——
——労働の人間化に向けて——	……………西部忠 25
……………工藤剛治 74	日本企業の組織革新と社会貢献活動に関する事例研究
情報のコンテンツとコンテキストの意味的な整合性	……………工藤剛治 43
——情報システムと組織の新たな統合原理——	生産スケジューリング事例ベース構築に関する問題定義/数理モデルの記述形式の研究
……………崔光 100	……………鮑金源 58
輸出取引における為替変動リスクの基本的ヘッジ手段	研究ノート
に関する会計的分析	カントリーリスク評価に関する研究方法論・序説
……………山口直也 120	……………井上久志 81
研究ノート	地方自治体における不正と監査
我が国における企業不正事例 (6)	——北海道監査委員事務局の事例を中心に——
……………吉見宏 146	……………吉見宏 96
翻訳	わが国優良中堅・中小企業の株式会社店頭登録に関する研究
マーティン・イエニッケ「政治システムの環境政策対処能力」 ……訳及び解説 本田宏	——マーケティングとビジネス・システムの革新性の観点—— ……坂本英樹 113
……………吉田文和 161	書評
	杉原薫著『アジア間貿易の形成と構造』(ミネルヴァ書房, 1996年) ……渡辺純子 125
[第46巻 第4号 (通巻第159号)] (1997.3)	
論文	[第47巻 第2号 (通巻第161号)] (1997.9)
日米自動車産業の共謀度と競争度の比較	法文学部経済学科発足50周年記念号
……………小野浩 1	序 ……石坂昭雄
大手製造業のROE (株主資本利益率) とその要素分解に関する一考察 ……菊池誠一 11	

論文	——和辻哲郎、ハイデガーおよびブローデル——	
石油危機とアメリカ主要大企業の設備投資と再構築	……………平 子 友 長	188
……………鎌 田 正 三		1
景気循環の趨勢的側面	……………小 山 光 一	203
——日本経済の今昔—— ……早 川 泰 正		16
社会情報としての経済統計の利用について (学界展 望) ……………是 永 純 弘		21
高橋財政期における一つのインフレ論争について	……………長 岡 新 吉	26
個別経済学としての経営学		
——個別経済説の展開—— ……真 野 脩		37
創業者利得と株式プレミアム	……………中 村 通 義	47
寄附行為と経済厚生		
——公共財供給の一側面——	……………小 林 好 宏	56
オランダ=ドイツ国境地域における綿工業の形成と発 展 (1830-1914)	……………石 坂 昭 雄	67
——トゥウンテ・アハテルフック=西ミュンス ターラント・ベントハイム伯領——		
比較マーケティングの研究方向に関する一考察	……………黒 田 重 雄	84
再販売価格維持行為の経済分析	……………小 野 浩	91
ステイトとネイション		
——近代国民国家と世界経済の政治経済学——	……………佐々木 隆 生	105
利潤率とマクロ経済		
——予備的考察—— ……内 田 和 男		124
明治前期民事判決にみる肥料経済 (1)	……………田 中 愼 一	132
「カントリーリスク評価」評価論	……………井 上 久 志	140
開発と都市労働市場		
——ジャカルタ拡大首都圏の事例分析——	……………宮 本 謙 介	155
「潜在能力アプローチ」と環境問題	……………吉 田 文 和	176
歴史における時間性と空間性		
	……………平 子 友 長	188
	……………小 山 光 一	203
	……………佐々木 憲 介	225
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253
	……………吉 見 宏	267
	……………中 西 聡	281
	……………橋 本 努	299
	……………町 野 和 夫	239
	……………蟹 江 章	253

[第47巻 第4号 (通巻第163号)] (1998.3)

小林好宏教授退官記念号

小林好宏教授 略歴…………… i
 小林好宏教授 研究業績…………… iii
 献辞……………内田和男 xi

論文

I

現代マーケティングの研究課題序説
 ……………黒田重雄 1
 再販売価格維持行為に関する一考察
 ……………小野浩 8
 農の字解 ……………田中愼一 12
 公的年金制度の構造とメカニズム
 ……………小山光一 25
 サヴェジ基礎論における術語 world について (7)
 ……………園信太郎 43
 限定合理的ゲームの政策決定過程モデルへの応用可能性
 ……………町野和夫 68

II

サービス化経済への分析視点 ……松本源太郎 83
 独占的競争経済と摩擦をとまなう価格設定
 ……………久保田義弘 107
 買い物行動と都市圏の人口分布
 ……………平澤亨輔 124
 財政再建の動学ゲーム ……………板谷淳一 133
 北海道の経済社会の動向 ……………加藤晃 149
 寡占価格の決定と設定 ……………増田辰良 160

III

東ドイツにおける投資金融改革
 —「資金自己調達」とその限界—
 ……………白川欽哉 171
 多文化管理の研究方法論序説
 ……………ラスアヴァ・リザマンピアニナ 192
 連邦型ネットワークにおける組織間学習
 ……………西村友幸 203

研究ノート

成長企業におけるビジネス・システムの検証
 —ビジネス・システムに創造されるシステム・コンピタンス— ……坂本英樹 219
 経営者と会社経営戦略 ……………石井耕 228

芸術のパトロンやスポンサーに関する考察

……………安田睦子 240

[第48巻 第1号 (通巻第164号)] (1998.6)

論文

監査の役割と監査人の役割
 —企業の存続能力の評価を題材として—
 ……………蟹江章 1
 日本における成長企業のケイパビリティに関する実証研究
 —ハイテク関連企業と非ハイテク関連企業間の比較分析— ……坂本英樹 14
 第3セクターのマネジメント
 —北海道ちほく高原鉄道の事例研究—
 ……………菅原浩信 34

研究ノート

拡大包括主義損益計算書への改訂 (1)
 —FAS 130 の包括利益の報告—
 ……………早川豊 49
 我が国における企業不正事例 (9)
 ……………吉見宏 58

[第48巻 第2号 (通巻第165号)] (1998.9)

論文

カントリーリスク評価のための Political Risk Index の構築 (1) ……………井上久志 1
 財政投融资の構造とメカニズム (1)
 ……………小山光一 16
 フランスの会計監査役による継続企業監査
 ……………蟹江章 34
 税効果会計の適用
 —普通株主の視点からの検討—
 ……………久保淳司 49
 U. S. Steel 社の資産適正化会計
 ……………春日部光紀 62

研究ノート

拡大包括主義損益計算書への改訂 (2・完)
 —FAS 130 の包括利益の報告—
 ……………早川豊 82
 わが国における最近の再販売価格維持行為の事例と分

1990年代製造業の技術変化と雇用・賃金格差
 ……岸 智子 122
 所得税の構造と所得分配 ……小 山 光 一 138
 有権者の意向は何故反映されないのか？
 ——ゲーム理論的分析—— ……町 野 和 夫 147

II

人材開発研究へのアプローチ (1)
 ……米 山 喜久治 161
 サヴェジ基礎論における術後 world について (8)
 ……園 信太郎 185
 フランスの会計監査役による警告手続
 ……蟹 江 章 212
 「進化経済学」の成果と限界
 ——「システム転換」の経済学を求めて——
 ……富 森 虔 児 223

[第49巻 第1号 (通巻第168号)] (1999.6)

論文

人材開発研究へのアプローチ (2)
 ……米 山 喜久治 1
 社会科学的概念構成の主観性と科学性 (2・完)
 ——ウェーバー『客観性』(1904年)論文の解説から——
 ……岡 部 洋 實 31
 フランスの会計監査役の職務と監査基準
 ……蟹 江 章 43
 財務諸表監査における責任分担の構造
 ——米国 SAS 第 82 号が監査人に与える影響——
 ……檜 山 純 63

研究ノート

輸入、産業組織と競争政策 ……増 田 辰 良 81

[第49巻 第2号 (通巻第169号)] (1999.9)

論文

耐久財の経済理論
 ——2期間モデルを中心に——
 ……小 野 浩 1
 人材開発研究へのアプローチ (3)
 ……米 山 喜久治 11
 カントリーリスク評価のための Political Risk Index
 の構築 (2) ……井 上 久 志 41

西暦 2000 年問題 ……田 中 嘉 浩 64
 フランスの会計監査役の独立性
 ……蟹 江 章 75
 連邦型ネットワークにおける戦略的変革のマネジメント
 ……西 村 友 幸 88
 U. S. Steel 社における連結会計実務の生成
 ……春 日 部 光 紀 98

[第49巻 第3号 (通巻第170号)] (1999.12)

論文

人材開発研究へのアプローチ (4)
 ……米 山 喜久治 1
 地方都市圏の開発と労働市場
 ——スラバヤ都市圏の事例分析——
 ……宮 本 謙 介 24
 フランスの会計監査役の「名簿」登録制度と職業組織
 ……蟹 江 章 37
 連邦型ネットワークの経営戦略と組織能力
 ……西 村 友 幸 56
 企業のドメイン形成における組織の知識編集メカニズム
 に関する理論的考察 ……山 田 仁 一 郎 71
 監査人による内部統制の評価の対象領域についての一
 考察
 ——1950年代を中心に—— ……栗 濱 竜 一 郎 93
 高齢化による税負担と国際収支
 ……山 口 力 105
 スイッチ付きロックアウト・オプションの数値的価格
 評価 ……花 田 邦 生 124

[第49巻 第4号 (通巻第171号)] (2000.3)

論文

貨幣生成論への視座 (1)
 ——山口重克氏の批判に答える——
 ……岡 部 洋 實 1
 サヴェジ基礎論における術後 world について (9)
 ……園 信太郎 14
 フランスにおける情報監査と実態監査
 ……蟹 江 章 46
 企業の境界デザイン ……相 原 基 大 62
 企業広告から得られる消費者の企業イメージ分析

—手段-目的連鎖モデルに基づくイメージ構造化—	宮本謙介	67
……………下村直樹	79	
『北海道金鉱山史研究』綱要(補遺)		
—金政策の変遷と北海道の金鉱山—		
……………浅田政広	101	
[第50巻 第1号(通巻第172号)](2000.6)		
論文		
ステイトとネイション(4)		
—近代国民国家と世界経済の政治経済学—		
……………佐々木隆生	1	
「成長の三角地帯」とバタム島の労働市場	宮本謙介	20
苦情処理の日米比較	柴田裕通	36
フランスの会計監査役の実務	蟹江章	49
進化経済学の概念的・方法的基礎		
—メタファー・アナロジー・シミュレーション—		
—……………西部忠	69	
オーストリア学派の貨幣制度論:メンガーからミーゼスへ	橋本千津子	83
財務諸表監査における内部統制の評価の意義	栗濱竜一郎	100
監査人の認知からみた財務諸表監査	島信夫	117
自己組織化臨界現象と「進化」		
—「経済システム」分析への応用可能性—		
……………富森虔児	141	
研究ノート		
サヴェジ氏の略伝	園信太郎	164
[第50巻 第2号(通巻第173号)](2000.9)		
論文		
ステイトとネイション(5)		
—近代国民国家と世界経済の政治経済学—		
……………佐々木隆生	1	
カントリーリスク評価のための Political Risk Indexの構築(3)	井上久志	41
国際労働力移動の歴史的位相		
—サウジアラビア・マレーシア・シンガポールで就労するインドネシア人—		
……………宮本謙介	67	
人事異動システムと情報技術		
—日米比較—	柴田裕通	87
客観論的見解の三つの問題点	園信太郎	99
制度改革と政治的意思決定過程のゲーム論的分析	町野和夫	106
米国会計基準における会計情報の開示姿勢	久保淳司	120
1930年代における U. S. Steel 社の連結会計	春日部光紀	132
場における相互作用のプロセス		
—地域プロジェクトにおける戦略形成—		
……………秋庭太	151	
[第50巻 第3号(通巻第174号)](2000.12)		
論文		
多国籍企業の一考察	小野浩	1
クリフ・レズリーの歴史的方法	佐々木憲介	10
サヴェジ氏の未公表の後書について	園信太郎	32
マルチメディアと現代解析		
—画像圧縮の話題から—		
……………田中嘉浩	56	
わが国の監査基準および監査慣行に関する一考察	蟹江章	67
自律分散型市場における貨幣	西部忠	78
「改革・開放」期における中国の私営企業		
—その基本的性格の形成に関する一考察—		
……………王衛	98	
人口問題と植民地		
—1920・30年代の樺太を中心に—		
……………竹野学	117	
日本におけるレバレッジド・リースの実証的考察(上)		
—我が国リース会社の実務例に触れて—		
……………金山剛	133	
デジタルエコノミーと創発的成長	富森虔児	154

[第 50 卷 第 4 号 (通巻第 175 号)] (2001.3)

論 文

会計ビッグバンと透明性ある保守主義
 ……………早 川 豊 1

貨幣生成論への視座 (2)
 ——山口重克氏の批判に応える——
 ……………岡 部 洋 實 12

アメリカ期フィリピンにおける小作経営と農業労働
 ——中・南部ルソン人口稠密地域における米作農業——
 ……………千 葉 芳 広 24

分析的手続の方法論的考察 ……島 信 夫 50

企業広告の内容分析によるテーマ類型化 —— 製品広告との境界曖昧化 ……下 村 直 樹 69

日本におけるレバレッジド・リースの実証的考察 (下)
 ——我が国リース会社の実務例に触れて——
 ……………金 山 剛 83

研究ノート

サヴェジ氏による 1959 年のレクチャーについて
 ……………園 信太郎 101
 橋本智雄教授 略歴・業績…………… i

[第 51 卷 第 1 号 (通巻第 176 号)] (2001.6)

論 文

明治肥料流通過程の一齣
 ……………田 中 愼 一 1

アジア開発最前線の労働市場 (1)
 ——アジア国際分業と労働市場研究の課題——
 ……………宮 本 謙 介 21

コインの投げ上げに関する未知固定の確率について
 ……………園 信太郎 37

制度化と制度改革のゲーム論的分析
 ……………町 野 和 夫 57

監査論教育のあり方に関する一試論
 ……………蟹 江 章 71

ステイクホルダー理論再考 ……谷 口 勇 仁 83

企業成長と資源ベース・ビュー
 ——適応から革新へ—— ……福 島 英 史 95

金融資産の流動化と SPC
 ——その会計問題と法的側面——
 ……………金 山 剛 111

G. v. マイヤーの第二義統計理論の再構成

——「自己観察」概念の現代的展開——
 ……………岡 部 純 一 127

[第 51 卷 第 2 号 (通巻第 177 号)] (2001.9)

論 文

人材開発研究へのアプローチ (5)
 ……………米 山 喜久治 1

非営利組織の自己革新
 ——我が国 NPO の未来——
 ……………小 島 廣 光 21

アジア開発最前線の労働市場 (2)
 ——中国, 上海市の事例分析——
 ……………宮 本 謙 介 27

サヴェジ氏が指摘している個人的確率に関する幾つかの難点について ……園 信太郎 51

会計基準の設定主体と設定プロセスのあり方に関する一考察
 ——わが国における現状, 動向および課題——
 ……………蟹 江 章 73

モンゴルの企業改革と民営化過程
 ——1990~2000—— ……ジャミヤン・ガンバト 97

覚 書

高齢化と財政の弾力性について
 ——北海道市町村のクロス・セクション・データに基づく分析——
 ……………内 田 和 男 121

[第 51 卷 第 3 号 (通巻第 178 号)] (2001.12)

論 文

ステイトとネイション (6)
 ——近代国民国家と世界経済の政治経済学——
 ……………佐々木 隆 生 1

問題・政策・政治の流れと政策の窓
 ——NPO 法の立法過程の分析に向けて——
 ……………小 島 廣 光 31

アジア開発最前線の労働市場 (3)
 ——中国, 浙江省の事例分析——
 ……………宮 本 謙 介 85

J. K. イングラムと歴史学派運動

……………	佐々木 憲 介	105
なぜサヴェジ氏は1954年に尤度原理に気づかなかったのか？	園 信太郎	127
離散最適化に於ける弱双対定理	田 中 嘉 浩	135
食品廃棄物の飼料の利用 ——札幌市を事例として——	森 久 綱	145

[第51巻 第4号(通巻第179号)] (2002.3)

論文

NPO 立法過程における参加者の行動	小 島 廣 光	1
アジア開発最前線の労働市場(4) ——マレーシア、クアラルンプール首都圏の事例分析——	宮 本 謙 介	97
企業行動に関する制度論と資源ベース論の統合に向けて ——半導体産業の先行研究レビューを中心として——	金 泰 旭	117

研究ノート

一般教育 ——現場からの一試論——	米 山 喜久治	151
----------------------	---------	-----

資料紹介

近代の石油産業における流通チャネル研究のための基礎資料(1)	内 藤 隆 夫	207
--------------------------------	---------	-----

[第52巻 第1号(通巻第180号)] (2002.6)

論文

アジア開発最前線の労働市場(5) ——台北首都圏の事例分析——	宮 本 謙 介	1
失念株問題処理のための数理モデル	木 村 俊 一	23
サヴェジ氏の帰納法に関する見解について	園 信太郎	37
モンゴル銀行制度に関する研究 ——1990~2000——	ジャミヤン・ガンバト	85
「日本のシステム」の海外展開 ——ダイキンヨーロッパのケーススタディ——	富 森 虔 児	109

研究ノート

地域の高齢化と地方財政の硬直化	内 田 和 男	121
環境アメニティ評価手法としてのヘドニックアプローチ	森 邦 恵	127

資料紹介

近代の石油産業における流通チャネル研究のための基礎資料(2)	内 藤 隆 夫	145
--------------------------------	---------	-----

[第52巻 第2号(通巻第181号)] (2002.9)

論文

改訂・政策の窓モデルによるNPO立法過程の分析	小 島 廣 光	1
アジア開発最前線の労働市場(6) ——ベトナム、ホーチミン都市圏の事例分析——	宮 本 謙 介	41
所得税と法人税の二重課税に関する一考察	小 山 光 一	63
なぜサヴェジ氏はオフィシャルな確率を避けたのか？	園 信太郎	73
会計方針の変更と比較財務諸表	久 保 淳 司	83
内生的景気循環モデルにおける消費税の安定化効果	高 嶋 宏 明	95
配合飼料への依存強化と自家配合飼料	森 久 綱	101

[第52巻 第3号(通巻第182号)] (2002.12)

論文

人材開発研究へのアプローチ(6)	米 山 喜久治	1
ステイトとネイション(7) ——近代国民国家と世界経済の政治経済学——	佐々木 隆 生	23
わが国企業の海外直接投資における投資受入国の規程要因 ——カントリーリスクを中心として——	井 上 久 志	41
補助金に関するフライペーパー効果の理論と実証	板 谷 淳 一	

佐野博之
山口力 69
外部監査およびコーポレート・ガバナンスに関する日
仏比較 ……………蟹江章
……………ジャック・ジョソー
……………エリザベート・ベルダン 87
退職給付会計の体系的概念と会計処理の整合性
……………宮川昭義 111
財務諸表の拡張と監査実務の対応
……………檜山純 125

[第52巻 第4号 (通巻第183号)] (2003.3)

論文

法人課税の構造 ……………小山光一 1
A. トインビーの歴史的方法と社会改良主義
……………佐々木憲介 21
主観確率及び期待効用の概念
——平成14年度 北海道大学経済学部公開講座
講義録より—— ……………園信太郎 41
情報システムの活用と競争優位
——わが国製造企業および非製造企業を対象とする
実証分析—— ……………平本健太 59
マンガビジネスの国際展開における課題
……………岡田美弥子 79
市場集中度と広告集約度に関する逆U字型仮説の分析
……………肥前洋一 91
「満州国」一般会計目的別歳出予算の動向
——1932~1942年度—— ……………平井廣一 103

[第53巻 第1号 (通巻第184号)] (2003.6)

論文

私的所有権の存立構造 ……………唐渡興宜 1
韓国農業奨励組合の展開過程 (明治期)
……………田中愼一 27
資産課税の構造 ……………小山光一 49
統計学の基礎に関するサヴェジ氏の再考について
……………園信太郎 79
北海道経済の成長要因分析 ……………大嶋謙一
……………内田和男 105

[第53巻 第2号 (通巻第185号)] (2003.9)

論文

人材開発研究へのアプローチ (7)
……………米山喜久治 1
労働による価値規定と「転形問題」に関する一考察
……………岡部洋實 25
個人所得課税の構造 ……………小山光一 35
近年の熟練論における研究の傾向
……………宇都宮讓 59
退職給付引当金と「引当金」概念の異同
……………宮川昭義 71

資料紹介

韓国農場視察報告および明治四十三年度水稲試作成績
……………田中愼一 87

[第53巻 第3号 (通巻第186号)] (2003.12)

経済学部50周年記念号

経済学部50周年記念号によせて
……………内田和男

論文

アメリカ経営史におけるパターンリズム
……………森 杲 1
企業会計の機能と開示偏重の問題点
……………高山朋子 27
ドイツ型金融システムにおけるユニバーサルバンク化
をめぐって ……………居城弘 45
所有論の基本的視座
——所有とは領有 (=取得) の過程における社会的
関係である—— ……………唐渡興宜 67
不完全競争と貿易形態 ……………小野浩 93
イメージの形成と職業選択
——理工科系学生的事例研究——
……………米山喜久治 101
朝鮮 (韓国) 農業奨励組合の展開過程
……………田中愼一 131
戦略的情報資源管理におけるエンドユーザー・コン
ピューティングの意義 ……………八 嶽 幸 信 159
インドネシア都市経済史覚書
——都市労働者の形成史を中心に——
……………宮本謙介 165

循環型社会のレジーム・アクター分析 ……………吉田文和 183	内田和男 佐々木隆生 425
小売マーケティングと組織学習 ——単品管理とチームMDを中心にして—— ……………佐藤芳彰 199	[第53巻 第4号(通巻第187号)] (2004.3)
1943年から1950年におけるわが国の普通圧延鋼材の 生産と消費 ——厚板と小型棒鋼の場合—— ……………長谷部 宏 一 217	論文
「満州国」地方財政における「省地方費」の成立 ……………平井 廣 一 233	グローバリゼーションの経済的側面 (1) ……………井上久志 1
消費課税の構造 ………………小山光一 251	保険会社のデフォルトと企業年金保険の価格 ……………鈴木輝好 29
コーポレート・ガバナンスにおける監査委員会の機能 と課題 ………………蟹江 章 271	職業専門家としての監査人の責任の拡張 ……………檜山 純 41
倫理的規範形成のゲーム論的分析 ……………町野和夫 283	J. N. ケインズにおける経済学の領域問題 ……………成田泰子 57
マクルーハン理論の「転換」 ……浅見克彦 299	財源調達方法による厚生水準の比較分析 ——世代重複モデルによるアプローチ—— ……………青木芳将 69
一般均衡と数理計画 ………………田中嘉浩 315	混雑が存在する経済における動学的な最適資本所得課税 ……………天野大輔 81
監査期待ギャップの論理と必然性 ……………吉見 宏 325	アマルティア・センの経済学的方法論と環境問題への 適用可能性 ………………杉浦竜夫 93
耐久財独占者の下取り取引のインセンティブと時間的 非整合性問題 ………………紀 國 洋 339	米国の新規株式公開市場に関する諸学説の再検討 ……………中村宙正 113
フランス労使関係における多元構造の起源 ——スト破り組合の誕生と衰退, 1897年-1929年—— ……………高井哲彦 349	[第54巻 第1号(通巻第188号)] (2004.6)
分配的正義の経済理論 ——責任と補償アプローチ—— ……………吉原直毅 373	論文
戦略管理会計のフィードフォワード構造 ——ダブルループ・フィードバックとフィードフォ ワード—— ………………丸田起太 403	税制の諸類型 ………………小山光一 1
情報化社会における会計情報開示 ……………久保淳司 415	無限期間定常経済モデルにおける厚生経済学の第2基 本定理と競争均衡の存在定理：一般的消費集合のケー ス ………………久保田 肇 17
座談会	1株当り利益の計算及び開示 ……久保淳司 49
北海道大学経済学部50年を顧みる ……………早川泰正 松井安信 長岡新吉 片桐誠士 小林好宏	国際合併企業と知識創造 ——日系企業を対象とする実証研究—— ……………平野 実 73
	研究ノート
	サヴェジ氏による1971年の公開講義について ……………園 信太郎 109
	[第54巻 第2号(通巻第189号)] (2004.9)
	論文
	ステイトとネイション (8)

——近代国民国家と世界経済の政治経済学——
 ……佐々木 隆 生 1
 地方財政の構造とメカニズム ……小 山 光 一 29
 契約者持分の増加と契約の転換を考慮した企業年金保
 険の価格付け ……鈴 木 輝 好 53
 核を持たない企業間連携のあり方
 ……上 木 政 美 63
 社会制度としての市場と企業家活動との相互補完性
 ——ハイエク・カーズナー・ハーバーの市場=企業
 家論から—— ……吉 田 昌 幸 81
研究ノート
 初等統計学の授業内容に関する幾つかの願望
 ……園 信太郎 99

[第54巻 第3号(通巻第190号)] (2004.12)

論文

ステイトとネイション (9)
 ——近代国民国家と世界経済の政治経済学——
 ……佐々木 隆 生 1
 グローバリゼーションの経済的側面 (2)
 ——ガバナンスの国際比較——
 ……井 上 久 志 23
 インド日系企業の労働市場
 ——デリー首都圏の事例分析——
 ……宮 本 謙 介 47
 株価収益率ボラティリティの変動特性に関する実証分
 析 ……木 村 俊 一
 渡 辺 岳 夫 67
 現代暗号の数理 ……田 中 嘉 浩 87
 複数の段階を伴う創造的交渉ゲームに関する研究
 ……前 田 周 一 99
 中国の為替管理と人民元レート
 ……于 曉 軍 115

[第54巻 第4号(通巻第191号)] (2005.3)

論文

相対的危険回避度と所得効果 ……内 田 和 男 1
 新渡戸稲造の朝鮮(韓国)観 ……田 中 愼 一 9
 国際金融資本市場における金利スプレッドの規定要因
 ……井 上 久 志 19

財政赤字の構造分析 ……小 山 光 一 47
 CSRにおける2つの視点
 ——「企業の論理」と「社会の論理」——
 ……谷 口 勇 仁 67
 低成長経済における小売商業構造の分析
 ——人口分布と小売店舗分布の関係に焦点をあてて——
 ……坂 川 裕 司 75

翻訳

マーティン・イエニッケ「環境フローのガバナンス
 ——国民国家を再生する必要——」
 ……吉 田 文 和
 佐々木 創
 行 方 の な 93

[第55巻 第1号(通巻第192号)] (2005.6)

論文

上海市の日系企業と労働市場
 ——再訪SB社の事例分析——
 ……宮 本 謙 介 1
 サヴェジ基礎論の第4章について
 ……園 信太郎 15
 経営戦略と組織の相互作用
 ——組織変革の戦略への影響経路——
 ……福 島 英 史 35
 1株当り利益と損益計算書の融合までの過程
 ……久 保 淳 司 49
 モンゴルにおける日本のODAの現状と課題
 ……ジャミヤン ガンバト
 吉 野 悦 雄 73

資料紹介

豊原商工会議所逐次刊行物総目次
 ——樺太商工業者の活動解明の手がかりとして——
 ……竹 野 学 95

[第55巻 第2号(通巻第193号)] (2005.9)

論文

医療市場のモデル分析 ……小 山 光 一 1
 情報システム活用による競争優位の実現に向けて
 ——追加データにもとづく予備的分析——
 ……平 本 健 太 13

小売業態開発のマネジメント

—店舗組織と多店舗組織におけるトレードオフ— ……………	坂川 裕 司	27
1株当たり利益の会計数値化 ……	久保 淳 司	41
監査報告書の伝達問題と特記事項 ……………	張 峻 松	65

[第55巻 第3号(通巻第194号)] (2005.12)

論文

タイ日系企業の労働市場

—バンコク首都圏の事例分析— ……………	宮本 謙 介	1
情報システム有効性の規定因 ……	平本 健 太	17
「割りかけ回収」制度と日本の防衛力整備 —1950年-1985年— ……	瀬川 高 央	33
日本における家計内分配指標の計測 ……………	森 郁 恵 諏訪 竜 夫 長谷川 光	55

研究ノート

取引数量制限が価格と社会的余剰に与える影響：理論 と教室実験 ……	肥前 洋 一	69
--------------------------------------	--------	----

[第55巻 第4号(通巻第195号)] (2006.3)

論文

90年代以降の所得乗数低下について(推論) ……………	内田 和 男	1
協働の窓モデル ……	小島 廣 光	11
モンゴルにおける税制度とGDP計算方法 ……………	吉野 悦 雄 ジャミヤン ガンバト	31
W. カニンガムにおける理論と歴史 ……………	佐々木 憲 介	43
インフレーションと資本蓄積 ……	工藤 教 孝	65
人的資源の会計的認識 —日英プロサッカークラブの実務を例として— ……………	角田 幸太郎	79

研究ノート

Kolmogorovの三公理に続くある御きまりの順序につ いて ……	園 信 太 郎	95
---------------------------------------	---------	----

[第56巻 第1号(通巻第196号)] (2006.6)

論文

明治前期民事判決にみる肥料経済(2) ……………	田中 慎 一	1
中国・広東省の労働市場と日系企業 —東莞市の事例分析を中心に— ……………	宮本 謙 介	21
新たな医療制度における費用負担構造の分析 ……………	小山 光 一	39
企業者ネットワークに関する経験的研究の現状と展望 ……………	相原 基 大 秋庭 太	57
アメリカの通商政策と対外租税政策の相互関係 —多国籍企業の展開を媒介として— ……………	須戸 和 男	77
南スラウェシ州の絹産業 —西ジャワ州絹産業との比較— ……………	横本 真千子	101
C.H.ダグラスの草案スキーム再考 —中央政府と分権的生産者銀行による協調的融資 の意義と問題点— ……	栗田 健 一	115

家計財と公共財に関する家族の自発的供給行動 ……………	田中 藍 子	129
--------------------------------	--------	-----

研究ノート

個人的確率の抽出に関する1971年のサヴェジ氏の論 文の第10節について ……	園 信 太 郎	151
ダンツィークの統計学への貢献 ……………	田中 嘉 浩	177

[第56巻 第2号(通巻第197号)] (2006.11)

唐渡興宜教授記念号

唐渡興宜教授 略歴 ……	i
唐渡興宜教授 研究業績 ……	iii
献辞 ……	v

論文

I 戦後日本資本主義の設備投資循環(予備的考察) —20世紀末大不況の深化と収束を媒介した日本 資本主義— ……	佐々木 洋	1
利潤率の傾向的低下法則と恐慌		

——「現実の資本の過剰生産」をめぐる——
 ……前畑 憲子 19

意識の発達とはなにか

——教育への誘い—— ……宮田 和保 33

救貧法改革と古典派経済学 ……森下 宏美 51

アナリティカル・マルクシズムにおける労働搾取理論
 ……吉原 直毅 63

資本主義的帝国主義と低開発

——資本主義 VS 非資本主義——
 ……平野 研 99

「資本の商品化」論に関する批判的一考察
 ……岡部 洋実 119

進化的制度設計におけるルールと制度
 ……西部 忠 133

左右田喜一郎の貨幣と理性

——若き知性と晩年の思索についての補論——
 ……橋本 努 147

II

J. N. ケインズにおける理論と歴史
 ……成田 泰子 153

翻訳

マーティン・イエニッケ「環境に優しい近代化——新たな展望——」
 ……吉田 文和 167

[第56巻 第3号 (通巻第198号)] (2007.1)

小野 浩教授記念号

小野 浩教授 略歴 …… i

小野 浩教授 研究業績 …… iii

献辞 …… v

論文

I

地域経済統合の進展と学生の国際間移動
 ……船津 秀樹 1

農産物の差別化と関税の効果
 ——牛肉輸入に関する実証分析——
 ……千葉 隆生 11

金融機関における ATM ネットワーク提携の分析
 ……紀 國 洋 21

自由参入、企業立地と厚生 ……倉田 洋 33

2つの流動性選好と「流動性のわな」

……………内田 和男 43

ネットワークの科学とネットワーク形成ゲーム
 ……町野 和夫 53

二階堂による無限次元財空間モデルにおけるゲール・
 二階堂の補題と競争均衡の存在証明への適用
 ……久保田 肇 65

II

監査に対する信頼の回復
 ……蟹江 章 95

Bethlehem Steel 社における連結会計の展開
 ……春日部 光紀 105

[第56巻 第4号 (通巻第199号)] (2007.3)

論文

自由な私的土地所有の成立
 ——封建的経済構造から資本制的経済構造への移行——
 ……唐渡 興宜 1

上海・浦東新区の日系企業と労働市場
 ——SA社の事例分析—— ……宮本 謙介 35

財務諸表監査と内部統制調査 ……蟹江 章 47

情報システム構築による競争環境の創発プロセス
 ——パナソニック・オーダー・システムとオーク
 ネット・システムに関する事例研究——
 ……平本 健太 59

台湾の対外経済関係に関する考察
 ——規制下の台・中間の経済相互依存と規制緩和——
 ……李 嗣堯 87

大学教育と現場の科学 ……米山 喜久治 115

研究ノート

文献覚書 ……園 信太郎 167

[第57巻 第1号 (通巻第200号)] (2007.6)

第200号記念号

第200号を記念して ……井上 久志 i

論文

明治前期民事判決にみる肥料経済をめぐる利害状況
 ……田中 愼一 1

マレーシアの日系企業と労働市場
 ——クアラルンプルの事例分析——
 ……宮本 謙介 33

2007.6

北海道大学「経済学研究」総目次

統計学入門における分布の収束のある取り扱いについて	園 信太郎	47
小売業における品揃え規模の優位性	坂川 裕司	51
境界のないキャリア概念の展開と課題	宇田 忠司	63
北海道大学「経済学研究」総目次(自第1号 至第200号)		(1)